

消費者アンケート調査報告書

令和4年7月
川越市

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1 川越市の農業に関する消費者アンケート概要 | 3 |
| 2 調査結果 | 4 |
| あなたとご家族についてお伺いします。..... | 4 |
| 農産物や畜産物の消費についてお伺いします。..... | 8 |
| 川越の農業・農畜産物についてお伺いします。..... | 12 |
| 川越の農産物直売所についてお伺いします。..... | 18 |
| 農家の庭先販売について伺います。..... | 21 |
| 川越市場についてお伺いします。..... | 24 |
| 川越の農業・農地に期待することについてお伺いします。..... | 26 |
| 市民農園や農業イベントなどについて伺います。..... | 28 |

1 川越市の農業に関する消費者アンケート概要

(1) 調査の目的

川越市における農業施策の指針となる「川越市農業振興計画」の策定に向け、川越市の 農業・農産物に対して広くご意見を伺い、計画を定めるにあたっての参考とするため、アンケート調査を実施しました。

(2) アンケート調査の概要

| | |
|-------|--------------------------|
| 調査場所 | 川越市全域 |
| 対象 | 市内在住の 18 歳以上の男女 2,052 人 |
| 調査方法 | 無作為抽出 |
| 実施方法 | 郵送による配布、郵送及び WEB による回収 |
| 実施期間 | 令和 4 年 6 月 20 日～7 月 25 日 |
| 有効回収 | 577 (内 WEB 154 件) |
| 有効回収率 | 28.1% |

(3) 集計上の留意点

- ①調査結果の比率はその設問の回答者数を母数 (N) として、小数第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため、比率については、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合や加減の結果が一致しない場合もあります。
- ②複数回答形式の場合、回答比率の合計は 100%を超えます。

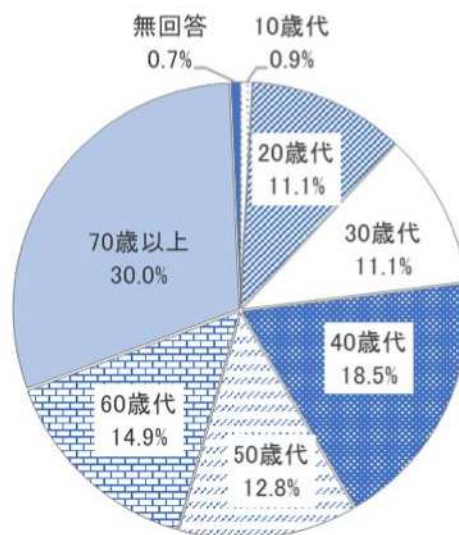
2 調査結果

あなたとご家族についてお伺いします。

問1 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

年齢では、「70歳以上」が30.0%と最も多く、次いで、「40歳代」が18.5%、「60歳代」が14.9%、「50歳代」が12.8%となっています。

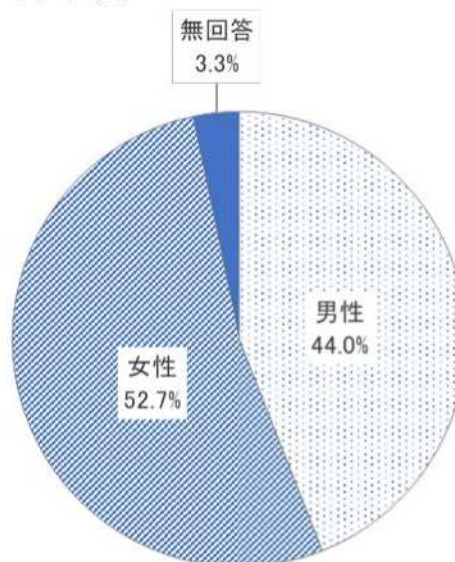
| 年齢 | 回答数 | 割合(%) |
|-------|-----|--------|
| 10歳代 | 5 | 0.9% |
| 20歳代 | 64 | 11.1% |
| 30歳代 | 64 | 11.1% |
| 40歳代 | 107 | 18.5% |
| 50歳代 | 74 | 12.8% |
| 60歳代 | 86 | 14.9% |
| 70歳以上 | 173 | 30.0% |
| 無回答 | 4 | 0.7% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別では、「男性」が44.0%、「女性」が52.7%となっています。

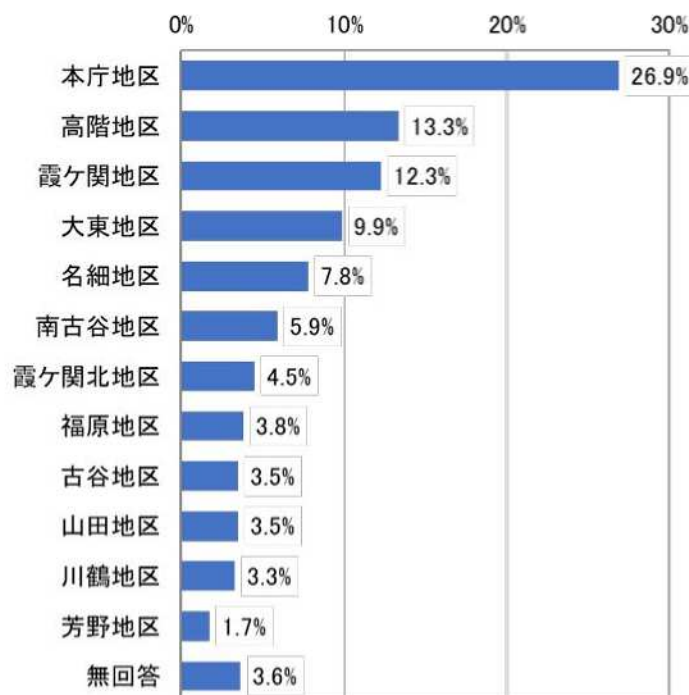
| 性別 | 回答数 | 割合(%) |
|------|-----|--------|
| 男性 | 254 | 44.0% |
| 女性 | 304 | 52.7% |
| 無回答 | 19 | 3.3% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



問3 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

お住まいの地区では、「本庁地区」が26.9%と最も多く、次いで、「高階地区」が13.3%、「霞ヶ関地区」が12.3%となっています。

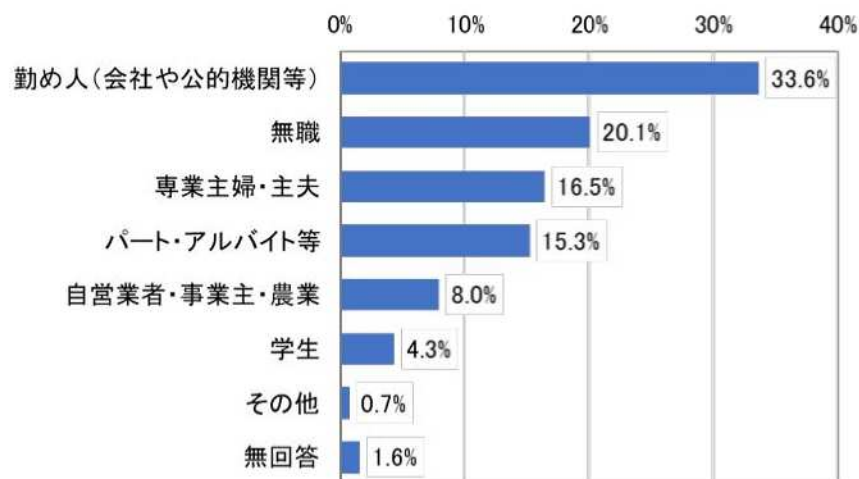
| 居住地区 | 回答数 | 割合(%) |
|--------|-----|--------|
| 本庁地区 | 155 | 26.9% |
| 高階地区 | 77 | 13.3% |
| 霞ヶ関地区 | 71 | 12.3% |
| 大東地区 | 57 | 9.9% |
| 名細地区 | 45 | 7.8% |
| 南古谷地区 | 34 | 5.9% |
| 霞ヶ関北地区 | 26 | 4.5% |
| 福原地区 | 22 | 3.8% |
| 古谷地区 | 20 | 3.5% |
| 山田地区 | 20 | 3.5% |
| 川鶴地区 | 19 | 3.3% |
| 芳野地区 | 10 | 1.7% |
| 無回答 | 21 | 3.6% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



問4 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

職業では、「勤め人(会社や公的機関等)」が33.6%と最も多く、次いで、「無職」が20.1%、「専業主婦・主夫」が16.5%となっています。

| 職業 | 回答数 | 割合(%) |
|---------------|-----|--------|
| 勤め人(会社や公的機関等) | 194 | 33.6% |
| 無職 | 116 | 20.1% |
| 専業主婦・主夫 | 95 | 16.5% |
| パート・アルバイト等 | 88 | 15.3% |
| 自営業者・事業主・農業 | 46 | 8.0% |
| 学生 | 25 | 4.3% |
| その他 | 4 | 0.7% |
| 無回答 | 9 | 1.6% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



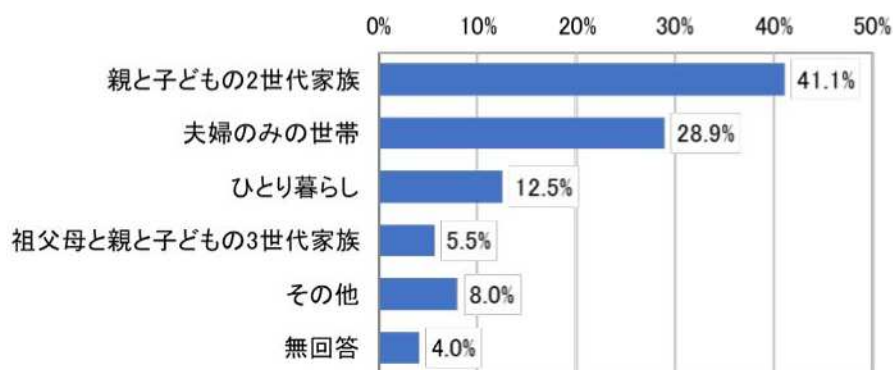
その他の回答

- ・ 授産施設で軽作業
- ・ 派遣社員

問5 あなたを含めて同居している家族構成はどれですか。(1つに○)

家族構成では、「親と子どもの2世代家族」が41.1%と最も多く、次いで、「夫婦のみの世帯」が28.9%、「ひとり暮らし」が12.5%となっています。

| 家族構成 | 回答数 | 割合(%) |
|-----------------|-----|--------|
| 親と子どもの2世代家族 | 237 | 41.1% |
| 夫婦のみの世帯 | 167 | 28.9% |
| ひとり暮らし | 72 | 12.5% |
| 祖父母と親と子どもの3世代家族 | 32 | 5.5% |
| その他 | 46 | 8.0% |
| 無回答 | 23 | 4.0% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |

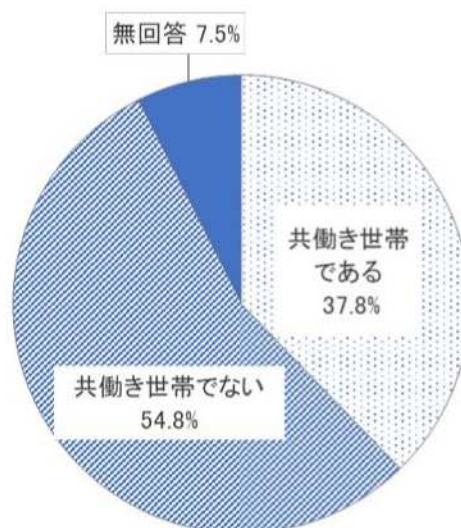


問5 で「ひとり暮らし」以外を回答した方

問6 あなたの世帯は共働き世帯ですか。(1つに○)

共働き世帯かでは、「共働き世帯である」が37.8%、「共働き世帯でない」が54.8%となっています。

| 共働き世帯 | 回答数 | 割合(%) |
|----------|-----|--------|
| 共働き世帯である | 182 | 37.8% |
| 共働き世帯でない | 264 | 54.8% |
| 無回答 | 36 | 7.5% |
| 回答者数 | 482 | 100.0% |

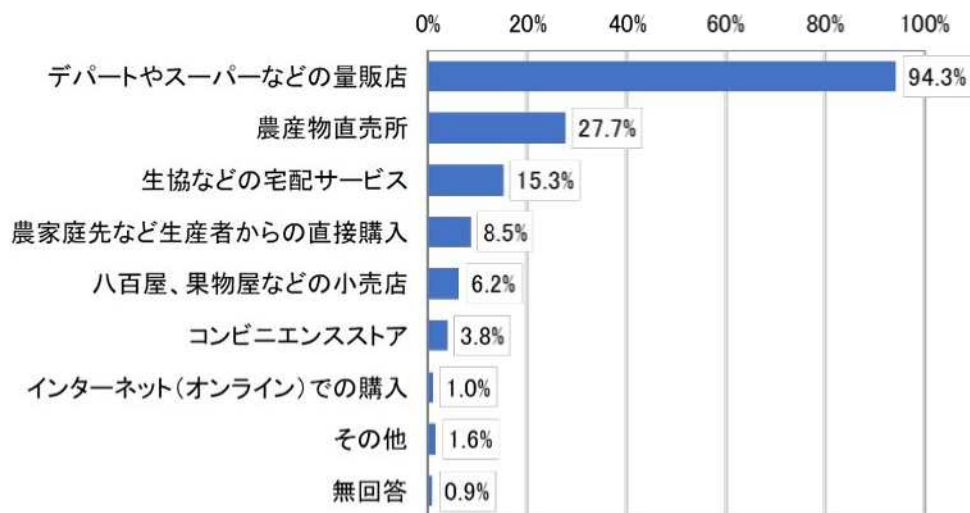


農産物や畜産物の消費についてお伺いします。

問7 あなたやご家族は、農畜産物を購入する場合、主にどこで購入しますか。(2つまで○)

農畜産物の購入先では、「デパートやスーパーなどの量販店」が94.3%と最も多く、次いで「農産物直売所」が27.7%、「生協などの宅配サービス」が15.3%となっています。

| 農畜産物の購入先 | 回答数 | 割合(%) |
|--------------------|-----|-------|
| デパートやスーパーなどの量販店 | 544 | 94.3% |
| 農産物直売所 | 160 | 27.7% |
| 生協などの宅配サービス | 88 | 15.3% |
| 農家庭先など生産者からの直接購入 | 49 | 8.5% |
| 八百屋、果物屋などの小売店 | 36 | 6.2% |
| コンビニエンスストア | 22 | 3.8% |
| インターネット(オンライン)での購入 | 6 | 1.0% |
| その他 | 9 | 1.6% |
| 無回答 | 5 | 0.9% |
| 回答者数 | 577 | |



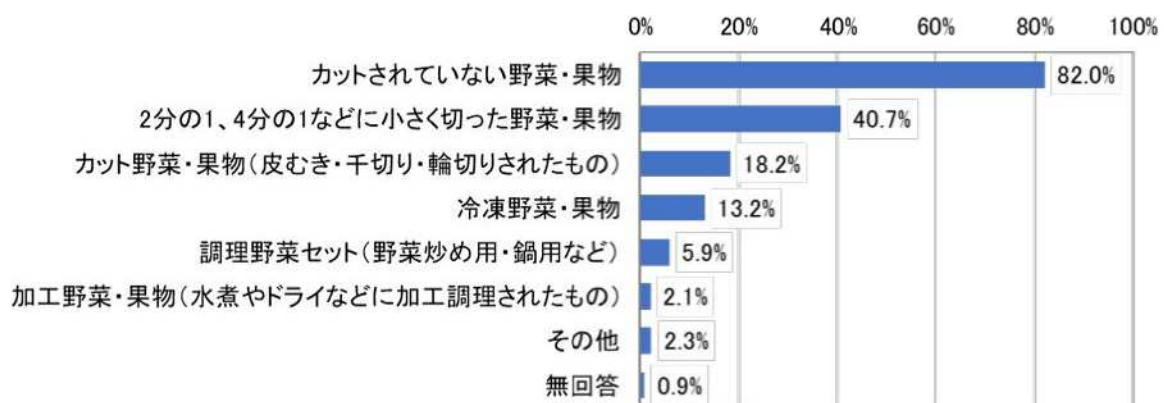
その他の回答

- ・ 道の駅
- ・ ワタミの宅食
- ・ 実家の農地からもらえるもの
- ・ 農家の親戚からのいただきもの 親から
- ・ 自分で作ったものを食べるようにしています。
- ・ 知人からいただく。

問8 農産物を購入するときに、どのような商品を選んでいきますか。(2つまで○)

購入する農産物の形態では、「カットされていない野菜・果物」が82.0%と最も多く、次いで「2分の1、4分の1などに小さく切った野菜・果物」が40.7%、「カット野菜・果物(皮むき・千切り・輪切りされたもの)」が18.2%となっています。

| 購入する農産物の形態 | 回答数 | 割合(%) |
|-----------------------------|-----|-------|
| カットされていない野菜・果物 | 473 | 82.0% |
| 2分の1、4分の1などに小さく切った野菜・果物 | 235 | 40.7% |
| カット野菜・果物(皮むき・千切り・輪切りされたもの) | 105 | 18.2% |
| 冷凍野菜・果物 | 76 | 13.2% |
| 調理野菜セット(野菜炒め用・鍋用など) | 34 | 5.9% |
| 加工野菜・果物(水煮やドライなどに加工調理されたもの) | 12 | 2.1% |
| その他 | 13 | 2.3% |
| 無回答 | 5 | 0.9% |
| 回答者数 | 577 | |



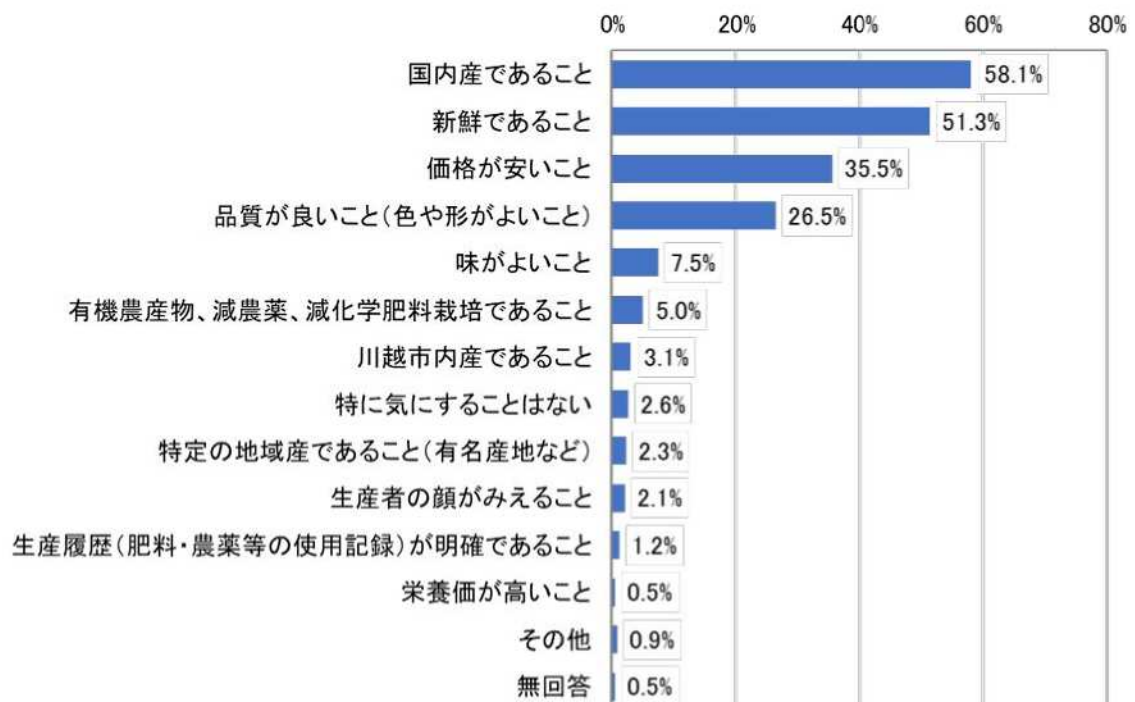
その他の回答

- ・ 価格が安い野菜
- ・ 有機農産物
- ・ 値段が安いため
- ・ 畑での収穫
- ・ 丸ごと買う
- ・ どのタイプも購入します。
- ・ 値段と質と量

問9 農畜産物を購入するときに、気にしている点は何ですか。(2つまで〇)

農畜産物の購入時に気にしている点では、「国内産であること」が58.1%と最も多く、次いで「新鮮であること」が51.3%、「価格が安いこと」が35.5%となっています。

| 農畜産物の購入の際に気にしている点 | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------------|-----|-------|
| 国内産であること | 335 | 58.1% |
| 新鮮であること | 296 | 51.3% |
| 価格が安いこと | 205 | 35.5% |
| 品質が良いこと(色や形がよいこと) | 153 | 26.5% |
| 味がよいこと | 43 | 7.5% |
| 有機農産物、減農薬、減化学肥料栽培であること | 29 | 5.0% |
| 川越市内産であること | 18 | 3.1% |
| 特に気にすることはない | 15 | 2.6% |
| 特定の地域産であること(有名産地など) | 13 | 2.3% |
| 生産者の顔がみえること | 12 | 2.1% |
| 生産履歴(肥料・農薬等の使用記録)が明確であること | 7 | 1.2% |
| 栄養価が高いこと | 3 | 0.5% |
| その他 | 5 | 0.9% |
| 無回答 | 3 | 0.5% |
| 回答者数 | 577 | |



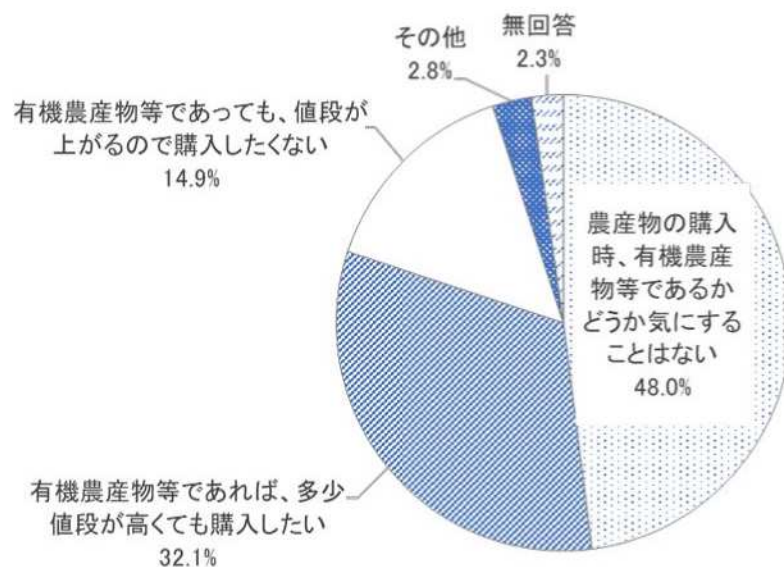
その他の回答

- ・ 旬の野菜は安くて新鮮
- ・ 旬の野菜
- ・ 質に対して価格が適切であること

問10 有機農産物、減農薬、減化学肥料で栽培された農産物（以下、「有機農産物等」とします）についてお伺いします。（1つに○）

有機農産物等については、「農産物の購入時、有機農産物等であるかどうか気にすることはない」が48.0%と最も多く、次いで「有機農産物等であれば、多少値段が高くても購入したい」が32.1%、「有機農産物等であっても、値段が上がるので購入したくない」が14.9%となっています。

| 有機農産物、減農薬、減化学肥料で栽培された農産物について | 回答数 | 割合(%) |
|--------------------------------|-----|--------|
| 農産物の購入時、有機農産物等であるかどうか気にすることはない | 277 | 48.0% |
| 有機農産物等であれば、多少値段が高くても購入したい | 185 | 32.1% |
| 有機農産物等であっても、値段が上がるので購入したくない | 86 | 14.9% |
| その他 | 16 | 2.8% |
| 無回答 | 13 | 2.3% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



その他の回答

- ・ 値段が高すぎなければ購入したい。
- ・ 値段は5%~10%upが限界
- ・ めずらしい野菜など、たまになら高くても購入
- ・ 若干値段が違うくらいなら「有機」のほうを購入するかもしれない。
- ・ なるべく安いのがいい。
- ・ 家庭菜園をしているので。
- ・ 有機農産物等であるからこそ多少なりとも値段が低くあってほしい。
- ・ 新鮮であること、品質の良いことが条件
- ・ 品物によって有機農産物を買うこともある。
- ・ それほど高くなければ購入している。
- ・ 安全なものが安ければ買いたい。
- ・ 価格を比較して、少しの金額差であれば有機農産物を優先して購入。
- ・ 有機農産物かつ値段が手を出しやすい価格なら購入する。
- ・ その時々で気にしたりしなかったりする。

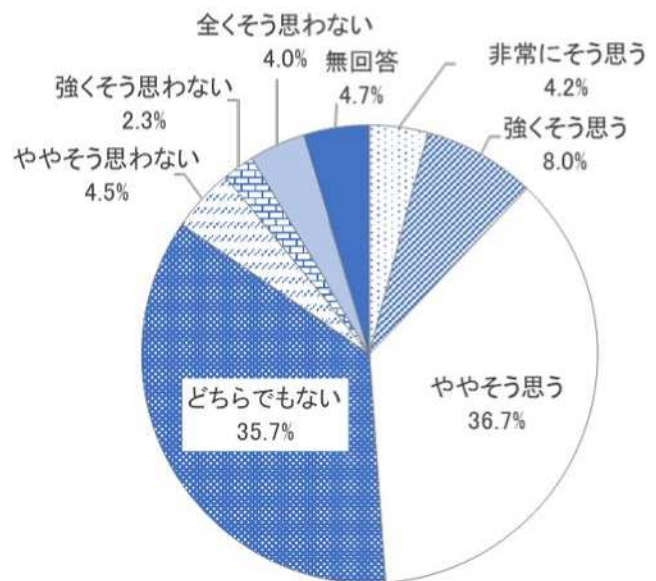
川越の農業・農畜産物についてお伺いします。

問11 あなたは、川越の農業・農地や農畜産物についてどのようにお考えでしょうか。(①～⑥それぞれ該当するもの1つに○)

① 日頃、農畜産物を買う際に、川越産を選びたい

農産物の購入時に川越産を選びたいかについて、「非常にそう思う」「強くそう思う」「ややそう思う」を合わせた『そう思う』(以下同様)が48.9%となっています。一方、「ややそう思わない」「強くそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』(以下同様)は10.7%、「どちらでもない」は35.7%となっています。

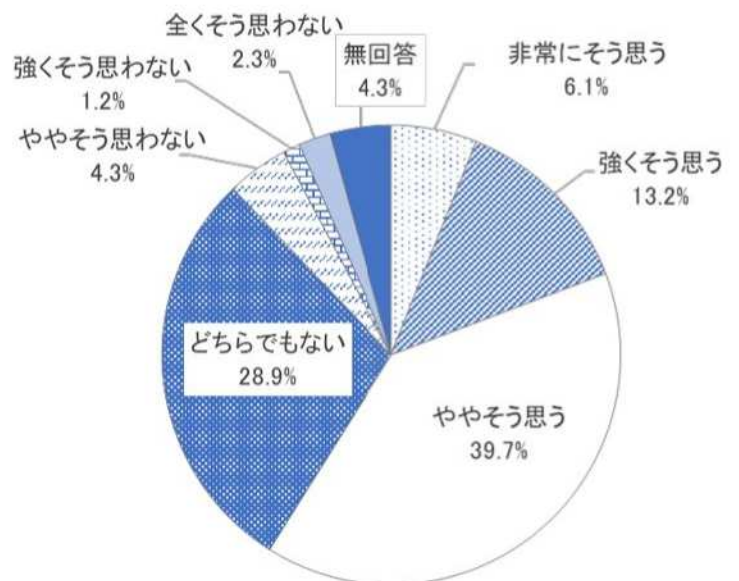
| 農畜産物の購入の際、川越産を選びたい | 回答数 | 割合(%) |
|--------------------|-----|--------|
| 非常にそう思う | 24 | 4.2% |
| 強くそう思う | 46 | 8.0% |
| ややそう思う | 212 | 36.7% |
| どちらでもない | 206 | 35.7% |
| ややそう思わない | 26 | 4.5% |
| 強くそう思わない | 13 | 2.3% |
| 全くそう思わない | 23 | 4.0% |
| 無回答 | 27 | 4.7% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



② 農業・農地は川越市のイメージに良い影響を与えている

農業・農地が川越市のイメージに良い影響を与えているかについて、『そう思う』が58.9%となっています。一方、『そう思わない』は7.8%、「どちらでもない」は28.9%となっています。

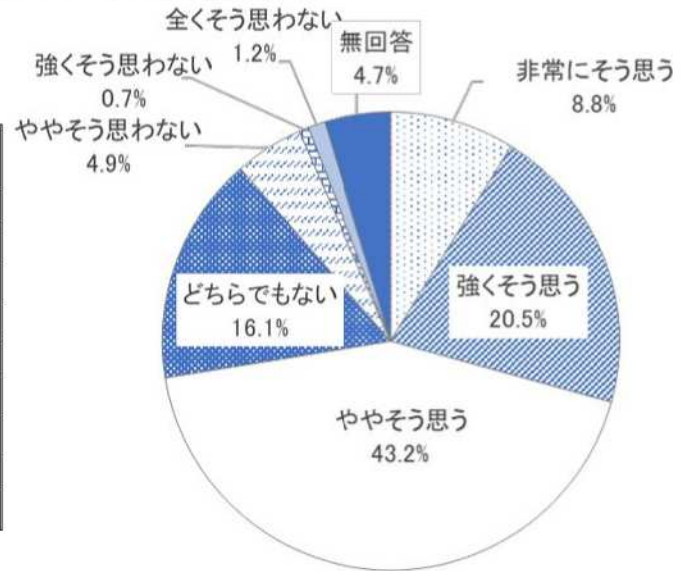
| 川越市のイメージに良い影響を与えている | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------|-----|--------|
| 非常にそう思う | 35 | 6.1% |
| 強くそう思う | 76 | 13.2% |
| ややそう思う | 229 | 39.7% |
| どちらでもない | 167 | 28.9% |
| ややそう思わない | 25 | 4.3% |
| 強くそう思わない | 7 | 1.2% |
| 全くそう思わない | 13 | 2.3% |
| 無回答 | 25 | 4.3% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



③ 農業は地域経済に寄与している

農業は地域経済に寄与しているかについて、『そう思う』が72.4%となっています。一方、『そう思わない』は6.8%、「どちらでもない」は16.1%となっています。

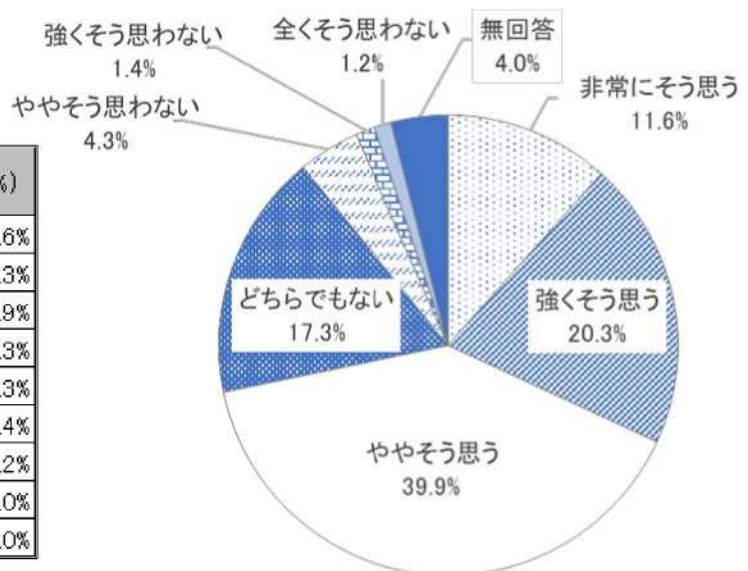
| 地域経済に寄与している | 回答数 | 割合(%) |
|-------------|-----|--------|
| 非常にそう思う | 51 | 8.8% |
| 強くそう思う | 118 | 20.5% |
| ややそう思う | 249 | 43.2% |
| どちらでもない | 93 | 16.1% |
| ややそう思わない | 28 | 4.9% |
| 強くそう思わない | 4 | 0.7% |
| 全くそう思わない | 7 | 1.2% |
| 無回答 | 27 | 4.7% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



④ 農業・農地は新鮮な食材の供給や田園景観などを通じて地域の生活の質を高めている

農業・農地が地域生活の質を高めているかについて、『そう思う』が71.8%となっています。一方、『そう思わない』は6.9%、「どちらでもない」は17.3%となっています。

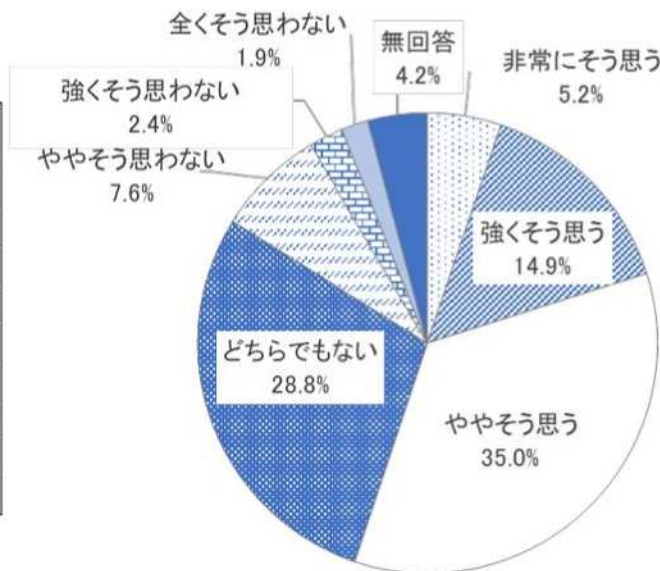
| 地域の生活の質を高めている | 回答数 | 割合(%) |
|---------------|-----|--------|
| 非常にそう思う | 67 | 11.6% |
| 強くそう思う | 117 | 20.3% |
| ややそう思う | 230 | 39.9% |
| どちらでもない | 100 | 17.3% |
| ややそう思わない | 25 | 4.3% |
| 強くそう思わない | 8 | 1.4% |
| 全くそう思わない | 7 | 1.2% |
| 無回答 | 23 | 4.0% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



⑤ 農業・農地は地域コミュニティの活性化に寄与している

農業・農地が地域コミュニティの活性化に寄与しているかについて、『そう思う』が55.1%となっています。一方、『そう思わない』は12.0%、「どちらでもない」は28.8%となっています。

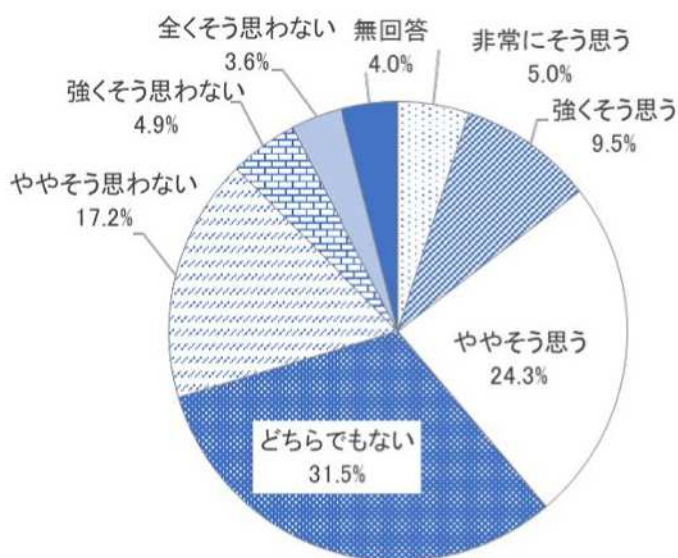
| 地域コミュニティの活性化に寄与している | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------|-----|--------|
| 非常にそう思う | 30 | 5.2% |
| 強くそう思う | 86 | 14.9% |
| ややそう思う | 202 | 35.0% |
| どちらでもない | 166 | 28.8% |
| ややそう思わない | 44 | 7.6% |
| 強くそう思わない | 14 | 2.4% |
| 全くそう思わない | 11 | 1.9% |
| 無回答 | 24 | 4.2% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



⑥ 荒れた田畑・耕作放棄地が目立つ

荒れた田畑・耕作放棄地が目立つかについて、『そう思う』が38.0%となっています。一方、『そう思わない』は25.6%、「どちらでもない」は31.5%となっています。

| 荒れた田畑・耕作放棄地が目立つ | 回答数 | 割合(%) |
|-----------------|-----|--------|
| 非常にそう思う | 29 | 5.0% |
| 強くそう思う | 55 | 9.5% |
| ややそう思う | 140 | 24.3% |
| どちらでもない | 182 | 31.5% |
| ややそう思わない | 99 | 17.2% |
| 強くそう思わない | 28 | 4.9% |
| 全くそう思わない | 21 | 3.6% |
| 無回答 | 23 | 4.0% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



問12 あなたが農畜産物を購入するにあたり、特に「川越産」を選びたい品目はありますか。あてはまるものを以下よりお選びください。（あてはまるものすべてに○）

川越産として特に選びたい品目では、「サツマイモ」が65.5%と最も多く、次いで「ほうれんそう」が36.6%、「きゅうり」が31.7%、「小松菜」が31.4%となっています。



| 川越産を 選びたい品目 | 回答数 | 割合(%) | 川越産を 選びたい品目 | 回答数 | 割合(%) |
|----------------|-----|-------|----------------|-----|-------|
| サツマイモ | 378 | 65.5% | ちんげんさい | 46 | 8.0% |
| ほうれんそう | 211 | 36.6% | ぶどう | 40 | 6.9% |
| きゅうり | 183 | 31.7% | 切り花 | 40 | 6.9% |
| 小松菜 | 181 | 31.4% | 豚肉 | 40 | 6.9% |
| トマト | 173 | 30.0% | 鉢花 | 32 | 5.5% |
| さといも | 168 | 29.1% | すいか | 23 | 4.0% |
| だいこん | 156 | 27.0% | ブルーベリー | 22 | 3.8% |
| えだまめ | 154 | 26.7% | 大豆 | 20 | 3.5% |
| にんじん | 138 | 23.9% | 鶏肉 | 20 | 3.5% |
| ネギ | 124 | 21.5% | うめ | 19 | 3.3% |
| なす | 122 | 21.1% | かき | 19 | 3.3% |
| キャベツ | 119 | 20.6% | くり | 19 | 3.3% |
| はくさい | 118 | 20.5% | やまのいも | 16 | 2.8% |
| トウモロコシ | 118 | 20.5% | 小麦 | 15 | 2.6% |
| ブロッコリー | 110 | 19.1% | 小豆・他豆類 | 14 | 2.4% |
| 米 | 99 | 17.2% | かんぎつ類 | 14 | 2.4% |
| たまねぎ | 99 | 17.2% | そば・雑穀 | 13 | 2.3% |
| じゃがいも | 86 | 14.9% | 梨 | 13 | 2.3% |
| レタス | 81 | 14.0% | 肉用牛 | 11 | 1.9% |
| カブ | 79 | 13.7% | キウイフルーツ | 8 | 1.4% |
| ピーマン | 77 | 13.3% | メロン | 5 | 0.9% |
| 卵 | 69 | 12.0% | マンゴー | 4 | 0.7% |
| ごぼう | 59 | 10.2% | その他 | 31 | 5.4% |
| 茶 | 58 | 10.1% | 無回答 | 43 | 7.5% |
| いちご | 57 | 9.9% | 回答者数 | 577 | |

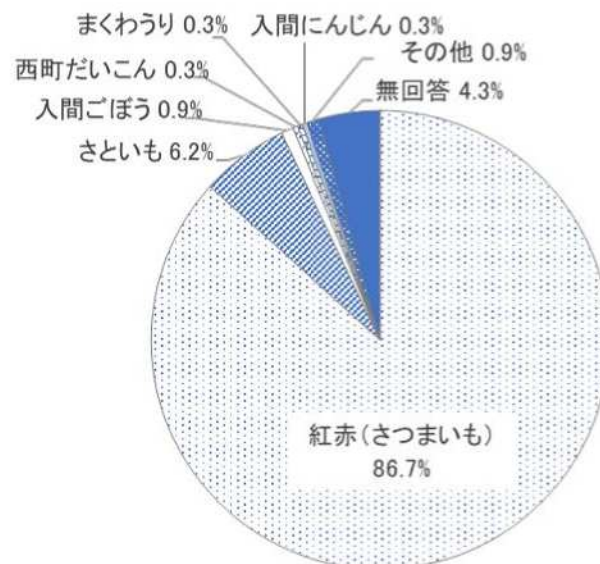
その他の回答

- ・ ごま
- ・ ししとうなど唐辛子系。
- ・ さつまいもが有名だが価格が高くて諦めてしまう。
- ・ 新鮮ならどちらでも購入します。
- ・ 安ければなんでも
- ・ こだわりません。
- ・ 特に決まっていない。
- ・ 特に選ぶことはないが地産があれば積極的に購入する。
- ・ 各産地の良いものを選ぶ。
- ・ 国産であればよい。
- ・ 意識していない。
- ・ 全てのものがお手軽価格になるならなるべくなら地産地消でいたい。
- ・ 直売所で買うので川越産になる。

問13 川越市の伝統野菜だと思うものは何ですか。(1つに○)

川越市の伝統野菜だと思うものでは、「紅赤(さつまいも)」が86.7%と最も多く、次いで「さといも」が6.2%となっています。

| 川越市の伝統野菜 | 回答数 | 割合(%) |
|-----------|-----|--------|
| 紅赤(さつまいも) | 500 | 86.7% |
| さといも | 36 | 6.2% |
| 人間ごぼう | 5 | 0.9% |
| 西町だいこん | 2 | 0.3% |
| まくわうり | 2 | 0.3% |
| 入間にんじん | 2 | 0.3% |
| その他 | 5 | 0.9% |
| 無回答 | 25 | 4.3% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



その他の回答

- ・ 小松菜
- ・ 狭山茶
- ・ 知らない。

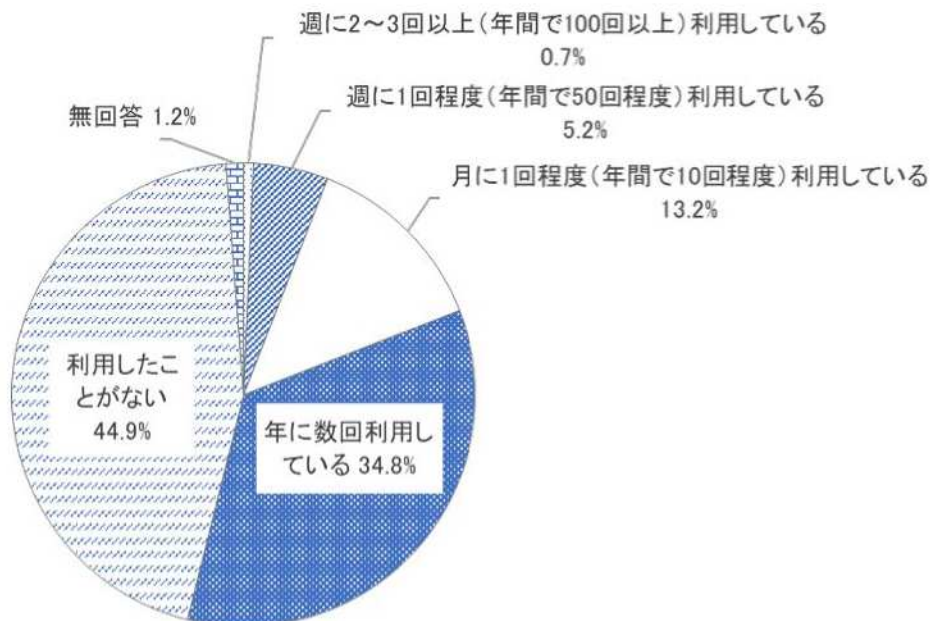
川越の農産物直売所についてお伺いします。

問14 市内の農産物直売所（あぐれっしゅ川越、福菜、伊佐沼農産物直売所のいずれか）を利用したことがありますか。（1つに○）

市内の農産物直売所（あぐれっしゅ川越、福菜、伊佐沼農産物直売所のいずれか）の利用については、「利用したことがない」が44.9%と最も多くなっています。

利用している頻度では、「年に数回利用している」が34.8%と最も多く、次いで「月に1回程度（年間で10回程度）利用している」が13.2%となっています。

| 農産物直売所の利用 | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------------|-----|--------|
| 週に2～3回以上(年間で100回以上)利用している | 4 | 0.7% |
| 週に1回程度(年間で50回程度)利用している | 30 | 5.2% |
| 月に1回程度(年間で10回程度)利用している | 76 | 13.2% |
| 年に数回利用している | 201 | 34.8% |
| 利用したことがない | 259 | 44.9% |
| 無回答 | 7 | 1.2% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |

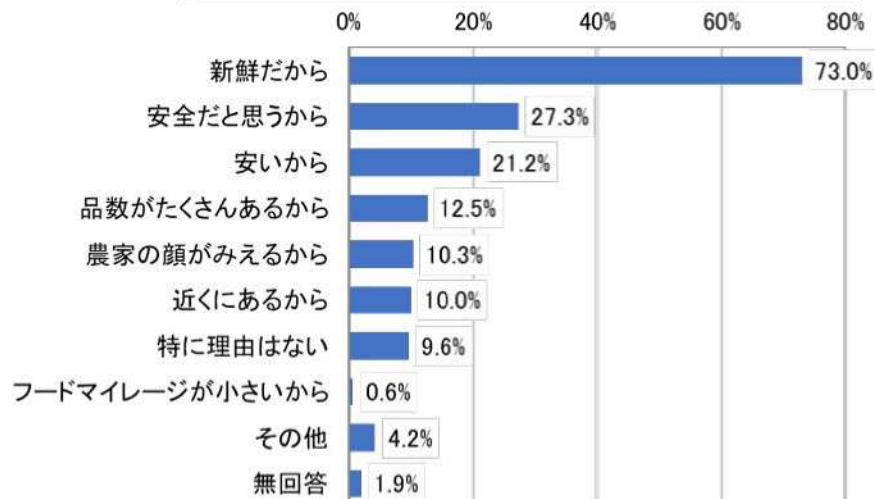


市内の農産物直売所を利用している方

問15 利用する理由は何ですか。(2つまで○)

市内の農産物直売所を利用している理由では、「新鮮だから」が73.0%と最も多く、次いで「安全だと思うから」が27.3%、「安いから」が21.2%となっています。

| 農産物直売所を利用する理由 | 回答数 | 割合(%) |
|----------------|-----|-------|
| 新鮮だから | 227 | 73.0% |
| 安全だと思うから | 85 | 27.3% |
| 安いから | 66 | 21.2% |
| 品数がたくさんあるから | 39 | 12.5% |
| 農家の顔が見えるから | 32 | 10.3% |
| 近くにあるから | 31 | 10.0% |
| 特に理由はない | 30 | 9.6% |
| フードマイルージが小さいから | 2 | 0.6% |
| その他 | 13 | 4.2% |
| 無回答 | 6 | 1.9% |
| 回答者数 | 311 | |



その他の回答

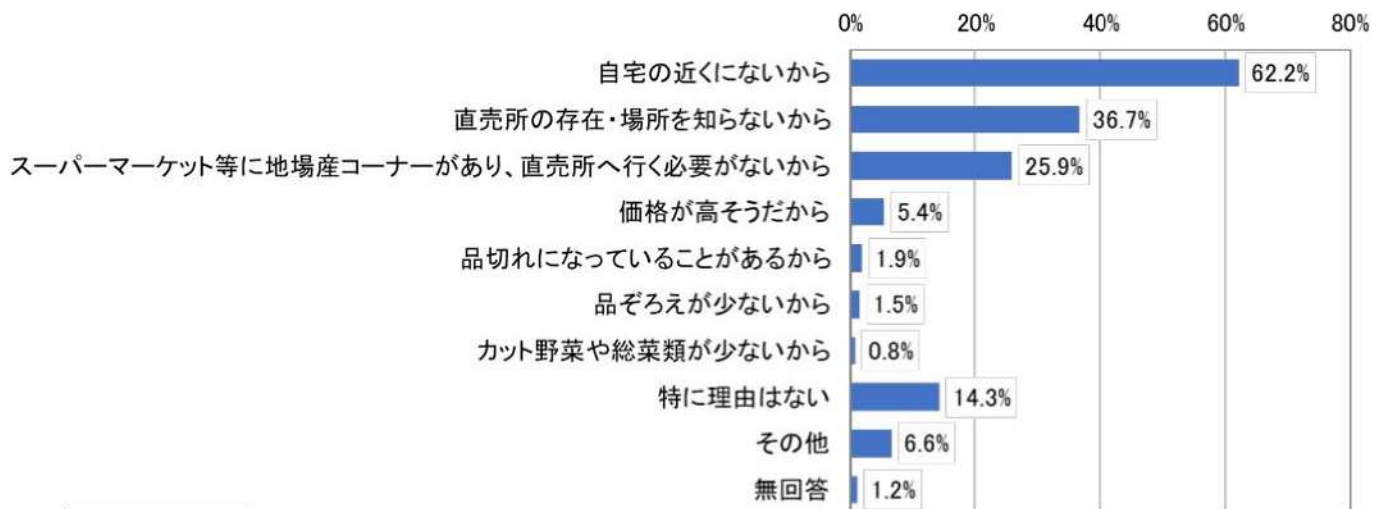
- ・ 車で連れて行ってくれる人がいる。
- ・ 近くに行ったときに安く新鮮だから。
- ・ ドライブの帰りがてらに直売所による。
- ・ 珍しい品物がおいてある。
- ・ スーパーにない野菜、果物を買いたいとき
- ・ 購入したいものがあったから。
- ・ 農業だから。
- ・ 肥料の購入（家庭菜園用）
- ・ EM菌ぼかしがあったから。
- ・ 地元産が買えると思うから。
- ・ 駐車場が無料だから。
- ・ 他市内（狭山市のお茶）の物を取り扱っているから。

市内の農産物直売所を利用したことがない方

問16 利用しない理由は何ですか。(2つまで○)

市内の農産物直売所を利用しない理由では、「自宅の近くにないから」が62.2%と最も多く、次いで「直売所の存在・場所を知らないから」が36.7%、「スーパーマーケット等に地場産コーナーがあり、直売所へ行く必要がないから」が25.9%となっています。

| 農産物直売所を利用しない理由 | 回答数 | 割合(%) |
|-------------------------------------|-----|-------|
| 自宅の近くにないから | 161 | 62.2% |
| 直売所の存在・場所を知らないから | 95 | 36.7% |
| スーパーマーケット等に地場産コーナーがあり、直売所へ行く必要がないから | 67 | 25.9% |
| 価格が高そうだから | 14 | 5.4% |
| 品切れになっていることがあるから | 5 | 1.9% |
| 品ぞろえが少ないから | 4 | 1.5% |
| カット野菜や総菜類が少ないから | 2 | 0.8% |
| 特に理由はない | 37 | 14.3% |
| その他 | 17 | 6.6% |
| 無回答 | 3 | 1.2% |
| 回答者数 | 259 | |



その他の回答

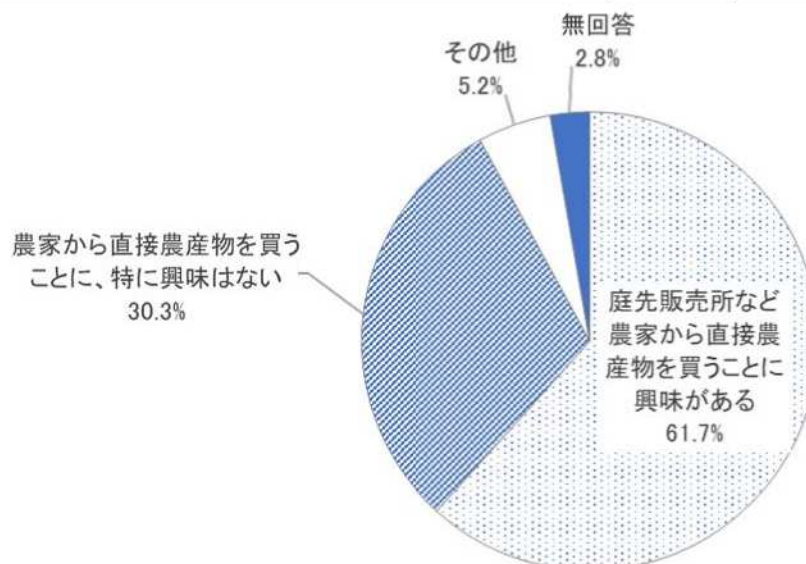
- ・ 足が悪いため。
- ・ 場所を知らないから。
- ・ 近くにないので家庭菜園をしている。
- ・ 営業時間に行きにくいから。
- ・ 今年1月免許証を手離し、車の運転をしないので自転車で行かれる範囲が限界。
- ・ 普段は宅配で、足りないものは近所のスーパーに行くため。
- ・ 利用したいが交通機関がない。
- ・ 車がないから行けないので近くの店で購入する。
- ・ 車を持っていないので、車所有前提の場所に行けない。
- ・ 問14の選択肢にはないのですが、開設当初に数回行った。
- ・ 職場の近くではないから。
- ・ 川越卸売市場に行くから。
- ・ 90坪借りて自給自足しているから。
- ・ ファームも近くにある。

農家の庭先販売について伺います。

問17 庭先販売など、農家から直接農産物を購入することについてお聞きします。(1つに○)

庭先販売など、農家から直接農産物を購入することについては、「庭先販売所など農家から直接農産物を買うことに興味がある」が61.7%と最も多く、次いで「農家から直接農産物を買うことに、特に興味はない」が30.3%となっています。

| 農産物の直接購入について | 回答数 | 割合(%) |
|-----------------------------|-----|--------|
| 庭先販売所など農家から直接農産物を買うことに興味がある | 356 | 61.7% |
| 農家から直接農産物を買うことに、特に興味はない | 175 | 30.3% |
| その他 | 30 | 5.2% |
| 無回答 | 16 | 2.8% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



その他の回答

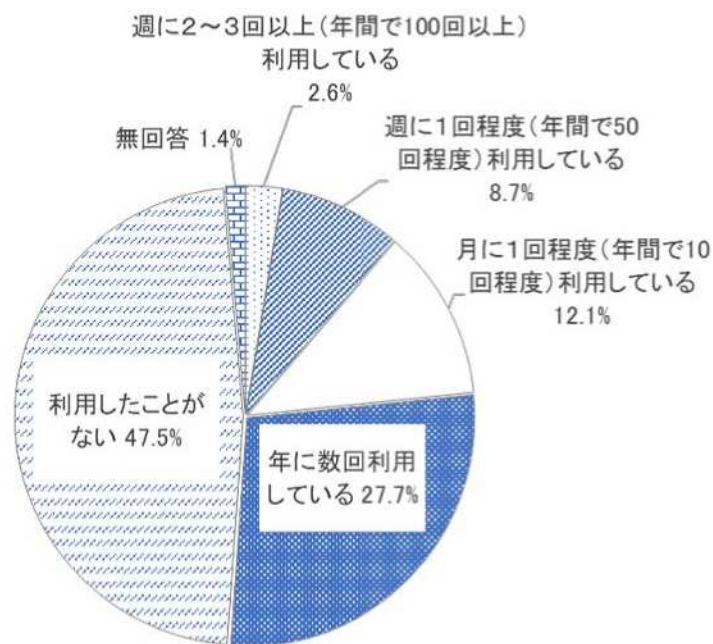
- ・ 近くに見ない。(2件)
- ・ 無人だと不安がある。
- ・ 買ったことがある。
- ・ 急な食材の不足の時など。
- ・ 量を考えると。
- ・ 見て美味しそうと思ったら買う。
- ・ 新鮮。時には話ができる。
- ・ 農家には良い販売担当者の確保など負担でしょう。
- ・ 購入したいが、庭先販売しているところがない。
- ・ 時々購入するくらいで、気にかけているわけではない。
- ・ スーパーに地場産コーナーがあるので満足。
- ・ スーパーなどで買うよりは鮮度が良さそうだから。
- ・ スーパーで購入してしまうので農家から買うことはない。
- ・ 形が少し悪くても安さと安全性に魅力がある。
- ・ 買う興味がありましたが、コロナ禍になり、今は販売していないので。
- ・ いつも感謝して利用させていただいております。
- ・ 自宅の近くで、便利だから。
- ・ 駐車場がない。
- ・ 新鮮で格安の為。
- ・ 農家からもらっている。
- ・ 畑で農産物を作っている。
- ・ 近くに販売所がない。
- ・ 散歩中に見かけたら時々買うことがある。

問18 市内の農家の庭先販売を利用したことがありますか。(1つに○)

庭先販売の利用状況では、「利用したことがない」が47.5%となっています。

利用した頻度では、「年に数回利用している」が27.7%と最も多く、次いで「月に1回程度（年間で10回程度）利用している」が12.1%となっています。

| 庭先販売の利用状況 | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------------|-----|--------|
| 週に2～3回以上(年間で100回以上)利用している | 15 | 2.6% |
| 週に1回程度(年間で50回程度)利用している | 50 | 8.7% |
| 月に1回程度(年間で10回程度)利用している | 70 | 12.1% |
| 年に数回利用している | 160 | 27.7% |
| 利用したことがない | 274 | 47.5% |
| 無回答 | 8 | 1.4% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |

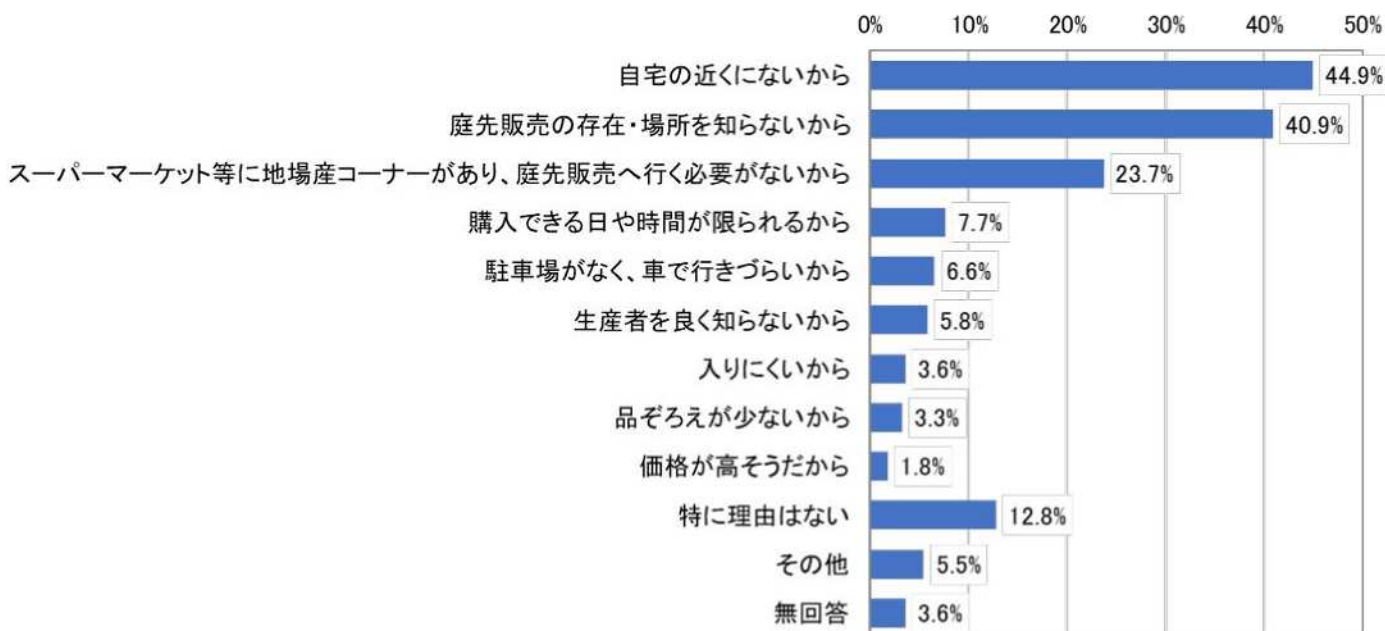


市内の農家の庭先販売を利用したことがない方

問19 利用しない理由は何ですか。(2つまで○)

市内の農家の庭先販売を利用しない理由では、「自宅の近くにないから」が44.9%と最も多く、次いで「庭先販売の存在・場所を知らないから」が40.9%、「スーパーマーケット等に地場産コーナーがあり、庭先販売へ行く必要がないから」が23.7%となっています。

| 庭先販売を利用しない理由 | 回答数 | 割合(%) |
|--------------------------------------|-----|-------|
| 自宅の近くにないから | 123 | 44.9% |
| 庭先販売の存在・場所を知らないから | 112 | 40.9% |
| スーパーマーケット等に地場産コーナーがあり、庭先販売へ行く必要がないから | 65 | 23.7% |
| 購入できる日や時間が限られるから | 21 | 7.7% |
| 駐車場がなく、車で行きづらいから | 18 | 6.6% |
| 生産者を良く知らないから | 16 | 5.8% |
| 入りにくいから | 10 | 3.6% |
| 品ぞろえが少ないから | 9 | 3.3% |
| 価格が高そうだから | 5 | 1.8% |
| 特に理由はない | 35 | 12.8% |
| その他 | 15 | 5.5% |
| 無回答 | 10 | 3.6% |
| 回答者数 | 274 | |



その他の回答

- ・ 自宅で生産している。
- ・ 農薬を使っているかわからない。
- ・ 畑で農産物を作っているから。
- ・ 自営の店の中で販売しているため。
- ・ いつ、どこで何が売られているのか事前にわからないから。
- ・ 日高市で買っている。
- ・ 虫がたくさんついていそうだから。
- ・ 90坪借りて自給自足しているから。
- ・ 場所がわからない。近くにないと思う。
- ・ 独り者なので少量でよい。
- ・ 農家の親戚が届けてくれる。
- ・ 購入検討した庭先販売が排ガス汚染の影響を受けている気がした。
- ・ 庭先販売している品はほとんど自宅の菜園で生育しているから。

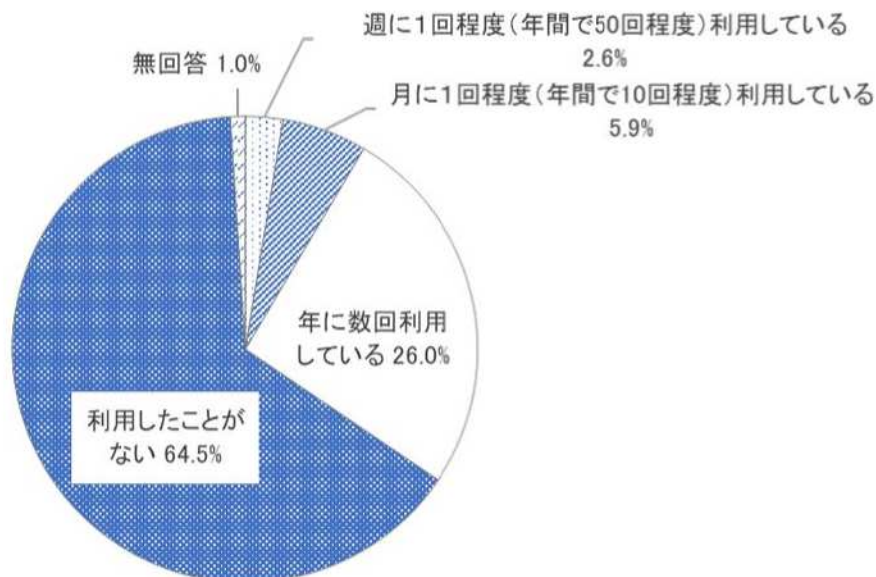
川越市場についてお伺いします。

問20 川越市場を利用したことがありますか。(1つに○)

川越市場については、「利用したことがない」が64.5%となっています。

利用した頻度では、「年に数回利用している」が26.0%と最も多く、次いで「月に1回程度(年間で10回程度)利用している」が5.9%となっています。

| 川越市場の利用 | 回答数 | 割合(%) |
|------------------------|-----|--------|
| 週に1回程度(年間で50回程度)利用している | 15 | 2.6% |
| 月に1回程度(年間で10回程度)利用している | 34 | 5.9% |
| 年に数回利用している | 150 | 26.0% |
| 利用したことがない | 372 | 64.5% |
| 無回答 | 6 | 1.0% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |

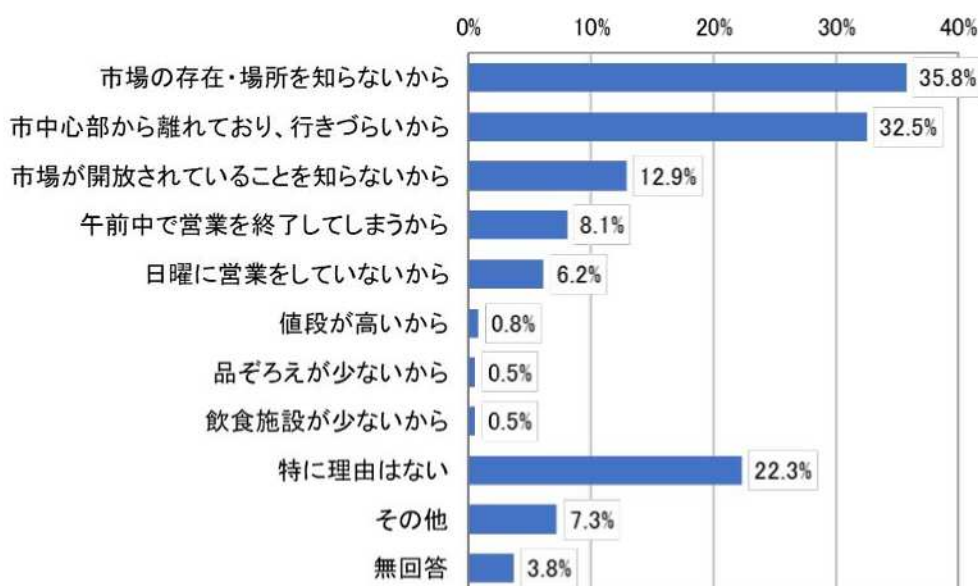


川越市場を利用したことがない方

問21 利用しない理由は何ですか。(2つまで○)

川越市場を利用しない理由では、「市場の存在・場所を知らないから」が35.8%と最も多く、次いで「市中心部から離れており、行きづらいから」が32.5%、「市場が開放されていることを知らないから」が12.9%となっています。

| 川越市場を利用しない理由 | 回答数 | 割合(%) |
|---------------------|-----|-------|
| 市場の存在・場所を知らないから | 133 | 35.8% |
| 市中心部から離れており、行きづらいから | 121 | 32.5% |
| 市場が開放されていることを知らないから | 48 | 12.9% |
| 午前中で営業を終了してしまうから | 30 | 8.1% |
| 日曜に営業をしていないから | 23 | 6.2% |
| 値段が高いから | 3 | 0.8% |
| 品ぞろえが少ないから | 2 | 0.5% |
| 飲食施設が少ないから | 2 | 0.5% |
| 特に理由はない | 83 | 22.3% |
| その他 | 27 | 7.3% |
| 無回答 | 14 | 3.8% |
| 回答者数 | 372 | |



その他の回答

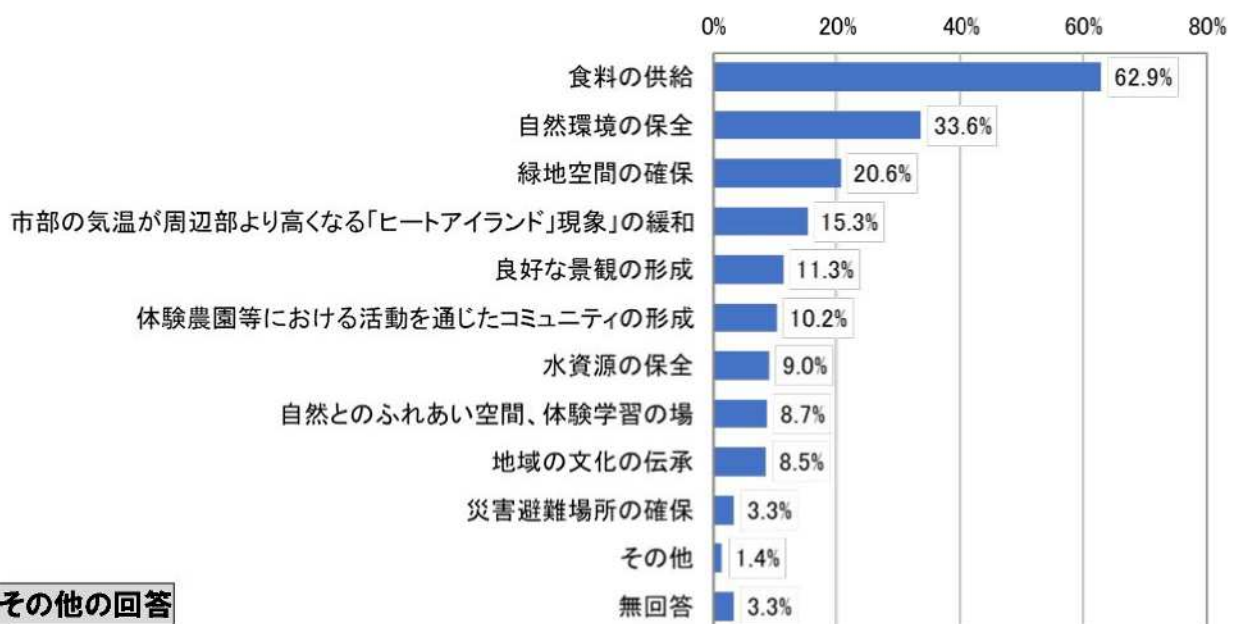
- ・車がなくて行けない。(8件)
- ・スーパーで十分だから。(2件)
- ・量が多いような気がする。
- ・新参者は行きづらいイメージがある。
- ・行ったことがないとハードルが高そう。
- ・包丁、電子レンジ持ってないので、調理出来る食材に限られる。
- ・遠いから。(7件)
- ・メリットがない。
- ・時間的余裕がない。
- ・道が混雑するため、あまり通いたくない。
- ・魅力がない。

川越の農業・農地に期待することについてお伺いします。

問22 都市の農地は一般的に次のような機能を有します。あなたが農地に期待する機能をお教えてください。(2つまで○)

農地に期待する機能では、「食料の供給」が62.9%と最も多く、次いで「自然環境の保全」が33.6%、「緑地空間の確保」が20.6%となっています。

| 農地に期待する機能 | 回答数 | 割合(%) |
|--------------------------------|-----|-------|
| 食料の供給 | 363 | 62.9% |
| 自然環境の保全 | 194 | 33.6% |
| 緑地空間の確保 | 119 | 20.6% |
| 市部の気温が周辺部より高くなる「ヒートアイランド」現象の緩和 | 88 | 15.3% |
| 良好な景観の形成 | 65 | 11.3% |
| 体験農園等における活動を通じたコミュニティの形成 | 59 | 10.2% |
| 水資源の保全 | 52 | 9.0% |
| 自然とのふれあい空間、体験学習の場 | 50 | 8.7% |
| 地域の文化の伝承 | 49 | 8.5% |
| 災害避難場所の確保 | 19 | 3.3% |
| その他 | 8 | 1.4% |
| 無回答 | 19 | 3.3% |
| 回答者数 | 577 | |



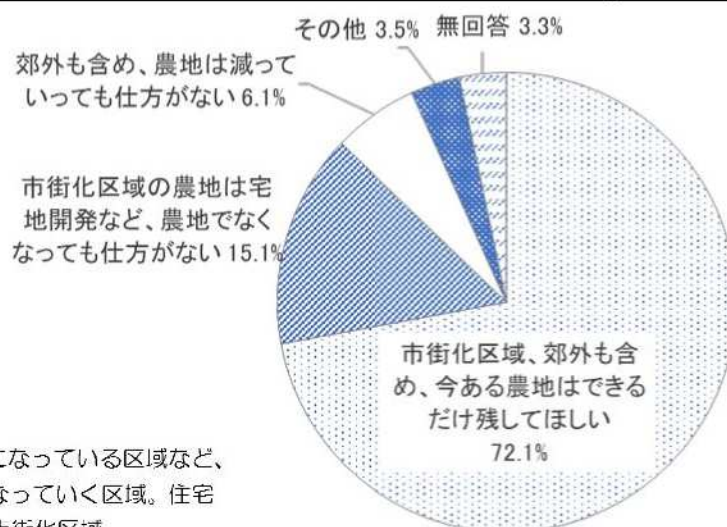
その他の回答

- ・ 砂埃の対策を行ってほしい。
- ・ 季節を楽しめる。
- ・ 生物多様性
- ・ 交通機関の便利なところに設置してほしい。
- ・ 今一つ選択肢の感覚は持たない。出典明記してください。
- ・ 農業も大事ですが、便利に生活できる環境を求めます。
- ・ 新鮮な野菜の美味しさ、本物の食生活の豊かさ。

問23 川越市内の農地について、どのようにお考えですか。(1つに○)

川越市内の農地についての考えでは、「市街化区域(※)、郊外も含め、今ある農地はできるだけ残してほしい」が72.1%と最も多く、次いで「市街化区域の農地は宅地開発など、農地でなくなっても仕方がない」が15.1%となっています。

| 川越市内の農地について | 回答数 | 割合(%) |
|----------------------------------|-----|--------|
| 市街化区域(※)、郊外も含め、今ある農地はできるだけ残してほしい | 416 | 72.1% |
| 市街化区域の農地は宅地開発など、農地でなくなっても仕方がない | 87 | 15.1% |
| 郊外も含め、農地は減っていても仕方がない | 35 | 6.1% |
| その他 | 20 | 3.5% |
| 無回答 | 19 | 3.3% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



※市街化区域：すでに市街地になっている区域など、積極的に整備・開発をおこなっていく区域。住宅街や商業地などは一般的に市街化区域。

その他の回答

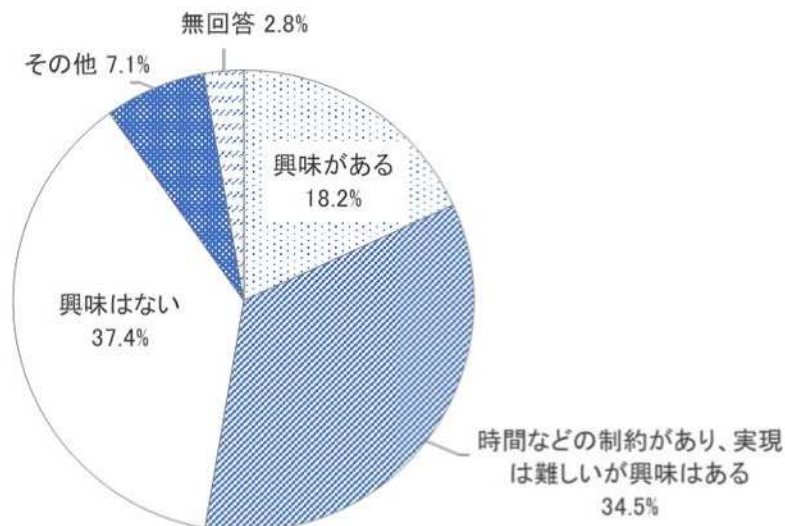
- ・一概には言えない。(3件)
- ・農地を増やしてほしい。 ・何も行っていない農地をなんとかしてほしい。
- ・市街化区域の農地や耕作していないところが多く、そこに限り宅地化し耕作者がいるところは農地を継続すべき。
- ・品質の向上に努めてほしい。時々裏切られますが。
- ・休耕農地が多く目立っているので農家の方に作付けしてほしい。
- ・区域問わず、耕作放棄地であれば減っても良いと思います。現役で耕作が行われているならば残してほしいです。どこの区域であっても。
- ・残して欲しいが担い手などの問題もあると考える。
- ・農地に関係ないかもですが、交通量が多いのに歩道が狭い、ない所があり、危ない。ダンプも多い。
- ・今ある農地は絶対残すべき。将来を考えるともっと農業者と農地を増やすべき。
- ・田舎出身なので川越の農地は半端に感じる。農地を残すのではなく発展させる必要があるのでは？選択肢が悪い。
- ・家族に継承する人がいない場合、運営会社を作って残してほしい。
- ・わからない。

市民農園や農業イベントなどについて伺います。

問24 あなたは市民農園を借りてご自分で農産物を栽培することに興味がありますか。(1つに○)

市民農園を借りて自分で農産物を栽培することへの興味では、「時間などの制約があり、実現は難しいが興味はある」「興味がある」を合わせた『興味がある』が52.7%となっています。一方、「興味はない」は37.4%となっています。

| 農作物栽培への興味 | 回答数 | 割合(%) |
|-------------------------|-----|--------|
| 興味がある | 105 | 18.2% |
| 時間などの制約があり、実現は難しいが興味はある | 199 | 34.5% |
| 興味はない | 216 | 37.4% |
| その他 | 41 | 7.1% |
| 無回答 | 16 | 2.8% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



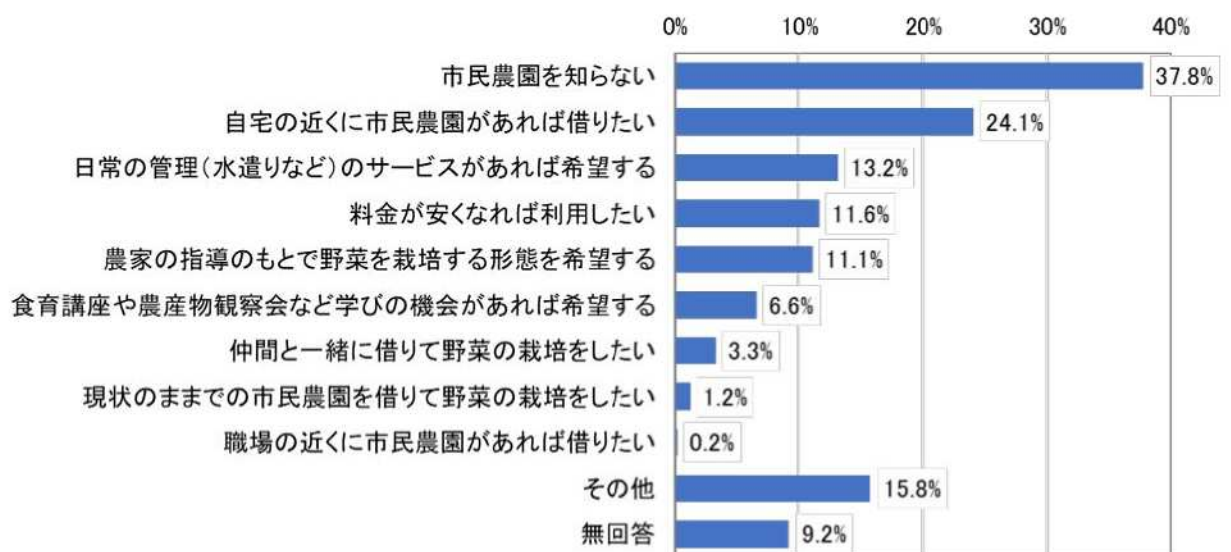
その他の回答

- ・畑を所有しているから。(9件)
- ・年齢的体力に無理です。(4件)
- ・体調がよくない。
- ・作り方がわからない。
- ・興味はあるが、体がうまく動けないのであきらめている。
- ・3年前まで借りていたが腰を痛めたため今はしていない。
- ・10年くらい前で約30年間永久農地を借りて、約150坪、約30種類栽培していた。
- ・10年位前まで借畑で野菜作りを楽しんでいたが地主さんの相続問題でやめた。
- ・26年間農地を借りて家庭菜園を楽しみました。
- ・都会生まれ都会生活が長かったので農業には縁が薄かった。
- ・興味はあるが、車がないので無理だと思う。
- ・現在借りています。(7件)
- ・実家が農家のため、特に必要ない。(2件)
- ・家族が行っている。
- ・定年後に近くにあれば。

問25 あなたは川越市の市民農園について、どのようにお考えですか。(2つまで○)

川越市内の市民農園についての考えでは、「市民農園を知らない」が37.8%と最も多く、次いで「自宅の近くに市民農園があれば借りたい」が24.1%、「日常の管理(水遣りなど)のサービスがあれば希望する」が13.2%となっています。

| 川越市の市民農園について | 回答数 | 割合(%) |
|----------------------------|-----|-------|
| 市民農園を知らない | 218 | 37.8% |
| 自宅の近くに市民農園があれば借りたい | 139 | 24.1% |
| 日常の管理(水遣りなど)のサービスがあれば希望する | 76 | 13.2% |
| 料金が安くなれば利用したい | 67 | 11.6% |
| 農家の指導のもとで野菜を栽培する形態を希望する | 64 | 11.1% |
| 食育講座や農産物観察会など学びの機会があれば希望する | 38 | 6.6% |
| 仲間と一緒に借りて野菜の栽培をしたい | 19 | 3.3% |
| 現状のままでの市民農園を借りて野菜の栽培をしたい | 7 | 1.2% |
| 職場の近くに市民農園があれば借りたい | 1 | 0.2% |
| その他 | 91 | 15.8% |
| 無回答 | 53 | 9.2% |
| 回答者数 | 577 | |



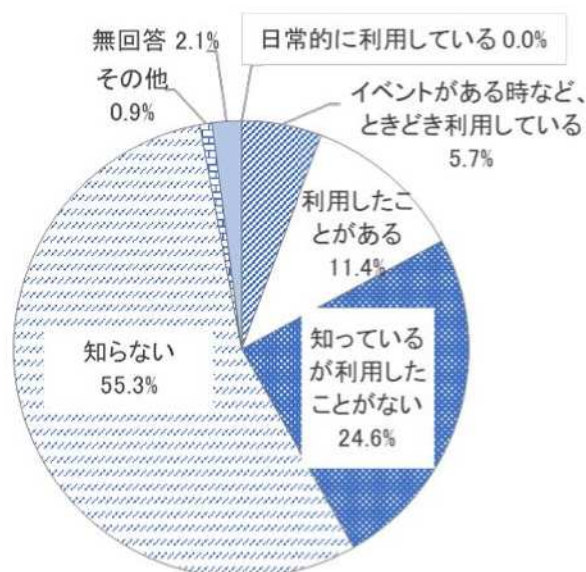
その他の回答

- ・ 興味がない。(20件)
- ・ 自宅に畑があるため。(9件)
- ・ 高齢のためできない。(9件)
- ・ 既に借りている。(3件)
- ・ 虫が苦手で利用したいと思っていない。(2件)
- ・ 近くにあれば皆、ぜひ体験してもらいたい。とても楽しい時間となる。
- ・ 時間があれば借りたい。
- ・ 自宅より約2km離れているが借りている。
- ・ 娘夫婦が借りて利用している。
- ・ 貰っているので自分では作る気がない。
- ・ 農家だから。
- ・ 実家が農家のため、特に必要ない。
- ・ 現在、200坪の畑を借りて野菜を作っているが、今年いっぱい畑を返すことになりました。
- ・ 農家の畑で野菜を作る。
- ・ 素人が作った物より、その道のスペシャリストの作った物の方がいい。
- ・ 栽培が簡単ではないのを知っているのでプロの農家に任せたい。
- ・ 上手に作れないから。
- ・ 農作業できない。
- ・ 自分で栽培できない。
- ・ 歳をとったらやってみたい。
- ・ 全く知らない訳ではないが詳しくは知らない。
- ・ 市民農園の存在は知っているが、活用方法や内容をよく知らない。
- ・ 存在を知らない。
- ・ 場所代は無料、自宅分だけ貰い余った分は市で販売とかなら考慮。
- ・ 利用者が増加する様検討すべきである。
- ・ 農園を借りたとしても手入れする時間がない。
- ・ 管理が難しい。
- ・ 市民農園を借りても現地に行く乗り物もない。足がない。
- ・ 転勤族の為、不可能。
- ・ わざわざ市民農園まで出向いてやりたくない。
- ・ 時間と体力がない。
- ・ 元気がない。
- ・ 休耕地活用などに良いと思いますが、今は体力的に無理。
- ・ 野菜作りなどしたいと思いますが、体力的に自信が持てない。
- ・ 特にありません。

問26 農業ふれあいセンターについてお伺いします。(1つに〇)

農業ふれあいセンターについては、「イベントがある時など、ときどき利用している」「利用したことがある」を合わせた『利用している(したことがある)』は17.2%となっています。一方、「知っているが利用したことがない」は24.6%、「知らない」は55.3%となっています。

| 農業ふれあいセンターについて | 回答数 | 割合(%) |
|-----------------------|-----|--------|
| 日常的に利用している | 0 | 0.0% |
| イベントがある時など、ときどき利用している | 33 | 5.7% |
| 利用したことがある | 66 | 11.4% |
| 知っているが利用したことがない | 142 | 24.6% |
| 知らない | 319 | 55.3% |
| その他 | 5 | 0.9% |
| 無回答 | 12 | 2.1% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



その他の回答

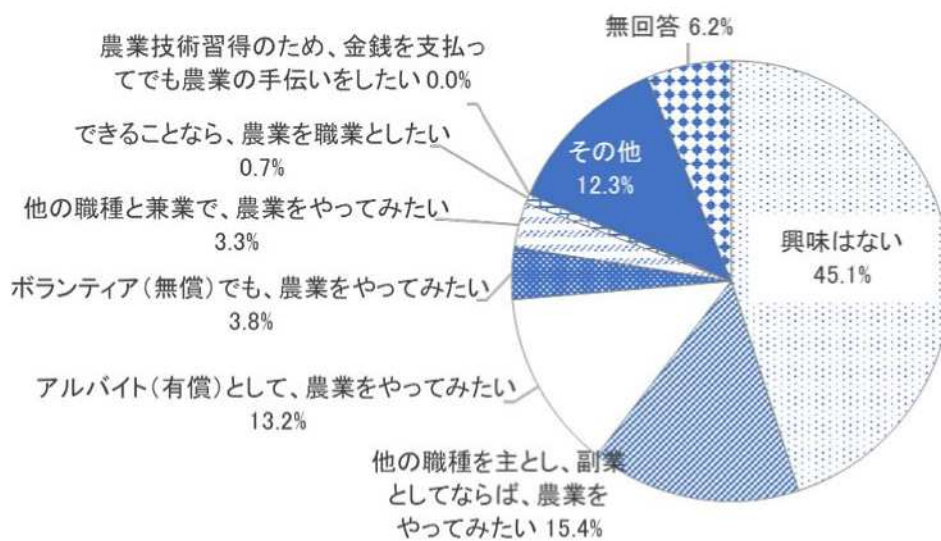
- ・ 行きたいが場所がわかりにくい。もっとわかりやすくしてほしい。交通機関の利用で行き方をきちんと説明してください。行きたいといつも思っています。
- ・ 利用したことはないと思う。
- ・ 知っているけど遠いので行けない。

問27 職業としての農業について、あなたのお考えをお教えてください。農業や農作業の手伝いに興味がありますか。(1つに○)

農業や農作業の手伝いについては、「興味はない」が45.1%と最も多くなっています。

興味のある側の回答では、「他の職種を主とし、副業としてならば、農業をやってみたい」が15.4%、「アルバイト(有償)として、農業をやってみたい」が13.2%となっています。

| 農業や農作業の手伝いへの興味 | 回答数 | 割合(%) |
|-------------------------------|-----|--------|
| 興味はない | 260 | 45.1% |
| 他の職種を主とし、副業としてならば、農業をやってみたい | 89 | 15.4% |
| アルバイト(有償)として、農業をやってみたい | 76 | 13.2% |
| ボランティア(無償)でも、農業をやってみたい | 22 | 3.8% |
| 他の職種と兼業で、農業をやってみたい | 19 | 3.3% |
| できることなら、農業を職業としたい | 4 | 0.7% |
| 農業技術習得のため、金銭を支払ってでも農業の手伝いをしたい | 0 | 0.0% |
| その他 | 71 | 12.3% |
| 無回答 | 36 | 6.2% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



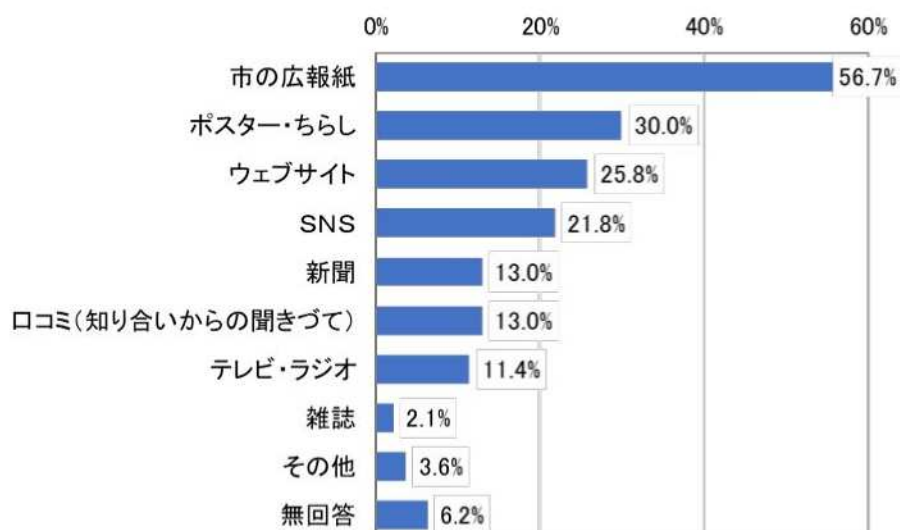
その他の回答

- ・ 高齢者の為、できない。(10件)
- ・ 興味はあるが、体力的に無理。(6件)
- ・ 興味はあるが、今は腰痛のためできない。
- ・ 気持ちはあっても高齢の為できない。
- ・ 足が悪いのでしゃがまないと出来る水耕栽培ならやってみたい。
- ・ 興味はあるが、体がうまく動けないので、農業はなし。
- ・ 力仕事のイメージがあるので、できないと思う。
- ・ 重労働なので年齢的に無理だと思う。
- ・ 虫がダメなので水耕栽培や虫と関わらない作業なら興味ある。
- ・ 働きたいが働けない。身体障害者だから。
- ・ 残念ながら年齢的に無理です。
- ・ 75歳なのでなんともいえない。
- ・ 年齢的にも自給自足程度の今のままでよい。
- ・ 離職・定年後の選択肢の1つ。
- ・ タイミングが合えばやってみたい。
- ・ 趣味として農業ならOK。
- ・ 趣味にとどめる。
- ・ 家庭菜園程度に興味。
- ・ 体験してみたい程度。
- ・ 体験ボランティア程度であればやってみたい。
- ・ 家庭菜園レベル。
- ・ 自分でやっている。
- ・ 自己所有地にて栽培中。
- ・ 興味は無いが所有する農地の管理と自宅用の野菜栽培で充分。
- ・ 夫実家(県外)が兼業農家なので手伝いは必須。
- ・ 自分では、やる気はない。
- ・ 農家だから。
- ・ 実家が農家でしたので、興味はありますが、できるかしら。
- ・ 現在の職との両立は無理。
- ・ 本業で手一杯。
- ・ 時間的に余裕がない。
- ・ 子どもが小さいので時間がとれない。小学生くらいになったら体験させたい。
- ・ 興味はあるが兼業不可。
- ・ 安全でおいしい野菜を自分で作ることができるように今探しています。
- ・ 定年になったら、農業の手伝いも良いかな。
- ・ 興味がないわけではないが、職業として農業は選択しない。
- ・ 現状お金払えば買えるが、買えなくなってしまえば、自分で何とか

問28 今後、どのような媒体から農業に関する情報(農業イベントや庭先販売、市民農園等)を入手することを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

農業に関する情報の入手を希望する媒体では、「市の広報紙」が56.7%と最も多く、次いで「ポスター・ちらし」が30.0%、「ウェブサイト」が25.8%となっています。

| 農業情報の入手を希望する媒体 | 回答数 | 割合(%) |
|------------------|-----|-------|
| 市の広報紙 | 327 | 56.7% |
| ポスター・ちらし | 173 | 30.0% |
| ウェブサイト | 149 | 25.8% |
| SNS | 126 | 21.8% |
| 新聞 | 75 | 13.0% |
| 口コミ(知り合いからの聞きづて) | 75 | 13.0% |
| テレビ・ラジオ | 66 | 11.4% |
| 雑誌 | 12 | 2.1% |
| その他 | 21 | 3.6% |
| 無回答 | 36 | 6.2% |
| 回答者数 | 577 | |



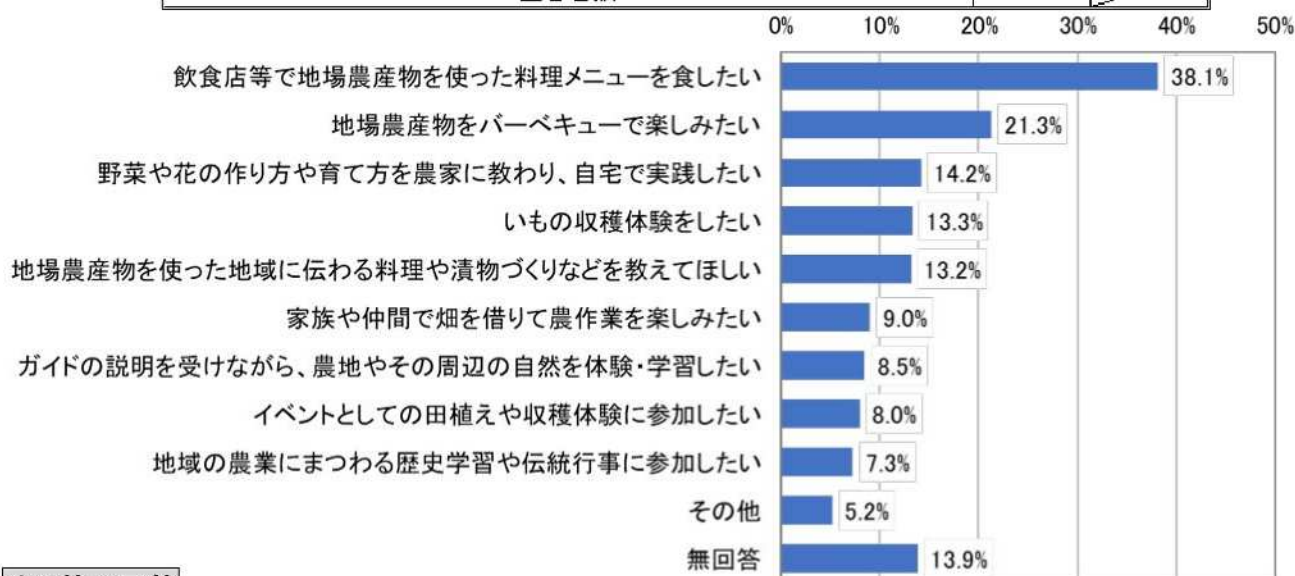
その他の回答

- ・ 希望しない。(4件)
- ・ PRが足りない。興味が持てない。
- ・ 学校のHP。
- ・ 情報が入ってくればいろいろ行きたい。
- ・ 今のところ必要だと思わない。
- ・ 散策していて。
- ・ 防災放送の広報活用。
- ・ 積極的には入手しない。
- ・ 不要。

問29 農にふれる体験について、あなたが参加したい内容がありましたら、お選びください。
(2つまで○)

参加したい農にふれる体験では、「飲食店等で地場農産物を使った料理メニューを食したい」が38.1%と最も多く、次いで「地場農産物をバーベキューで楽しみたい」が21.3%、「野菜や花の作り方や育て方を農家に教わり、自宅で実践したい」が14.2%となっています。

| 参加したい農にふれる体験 | 回答数 | 割合(%) |
|----------------------------------|-----|-------|
| 飲食店等で地場農産物を使った料理メニューを食したい | 220 | 38.1% |
| 地場農産物をバーベキューで楽しみたい | 123 | 21.3% |
| 野菜や花の作り方や育て方を農家に教わり、自宅で実践したい | 82 | 14.2% |
| いもの収穫体験をしたい | 77 | 13.3% |
| 地場農産物を使った地域に伝わる料理や漬物づくりなどを教えてほしい | 76 | 13.2% |
| 家族や仲間と畑を借りて農作業を楽しみたい | 52 | 9.0% |
| ガイドの説明を受けながら、農地やその周辺の自然を体験・学習したい | 49 | 8.5% |
| イベントとしての田植えや収穫体験に参加したい | 46 | 8.0% |
| 地域の農業にまつわる歴史学習や伝統行事に参加したい | 42 | 7.3% |
| その他 | 30 | 5.2% |
| 無回答 | 80 | 13.9% |
| 回答者数 | 577 | |



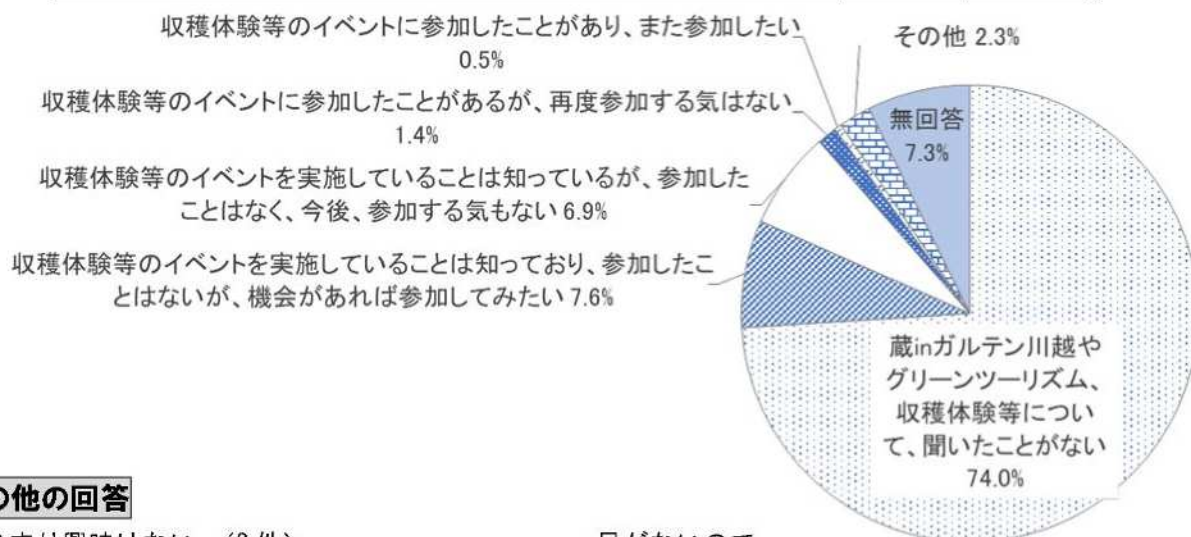
その他の回答

- ・あまり興味がない。(7件)
- ・体力的に無理
- ・家庭菜園を借りて農業を体験している。
- ・所有する農地の管理と自宅用の野菜栽培で常に体験している。
- ・子どもと一緒に農業に触れたい。
- ・低年齢の子供が参加すること前提の学習体験をしたい。
- ・子どもの頃、多々体験したのである程度でよい。
- ・仲間と畑を借りて作っているが畑に合う作物を知りたい。
- ・参加したことがない。
- ・農業経営理論。
- ・年齢的に無理。(5件)
- ・20年にわたり、家庭菜園をしてきた。
- ・今は仕事が忙しいので参加できない。

問30 蔵 in ガルテン川越グリーンツーリズム推進協議会が、農業ふれあいセンターで実施している収穫体験等のイベントについて、あなたのお考えをお教えてください。(1つに○)

蔵 in ガルテン川越グリーンツーリズム推進協議会が、農業ふれあいセンターで実施している収穫体験等のイベントについては、「蔵 in ガルテン川越やグリーンツーリズム、収穫体験等について、聞いたことがない」が74.0%と最も多く、次いで「収穫体験等のイベントを実施していることは知っており、参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が7.6%、「収穫体験等のイベントを実施していることは知っているが、参加したことはなく、今後、参加する気もない」が6.9%となっています。

| 農業や農作業の手伝いへの興味 | 回答数 | 割合(%) |
|--|-----|--------|
| 蔵inガルテン川越やグリーンツーリズム、収穫体験等について、聞いたことがない | 427 | 74.0% |
| 収穫体験等のイベントを実施していることは知っており、参加したことはないが、機会があれば参加してみたい | 44 | 7.6% |
| 収穫体験等のイベントを実施していることは知っているが、参加したことはなく、今後、参加する気もない | 40 | 6.9% |
| 収穫体験等のイベントに参加したことがあるが、再度参加する気はない | 8 | 1.4% |
| 収穫体験等のイベントに参加したことがあり、また参加したい | 3 | 0.5% |
| その他 | 13 | 2.3% |
| 無回答 | 42 | 7.3% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



その他の回答

- ・あまり興味はない。(2件)
- ・高齢により無理。
- ・実家が農家のため、特に必要ない。
- ・収穫体験等のイベントを知らませんでした。
- ・川越駅から送迎ワゴンが出るのなら子連れで参加してみたい。
- ・離れており、イベントは知らなかった。参加する気はない。
- ・蔵 in ガーデンって酷い名前過ぎて行くのを躊躇してしまう。
- ・
- ・足がないので。
- ・できない。
- ・高齢の為、必要なし。

問31 以下に示す①～⑯の川越市の農業振興施策のうち、あなたが重要であると思う施策、重要でないと思う施策をそれぞれ3つまで選び、その番号をご記入ください。

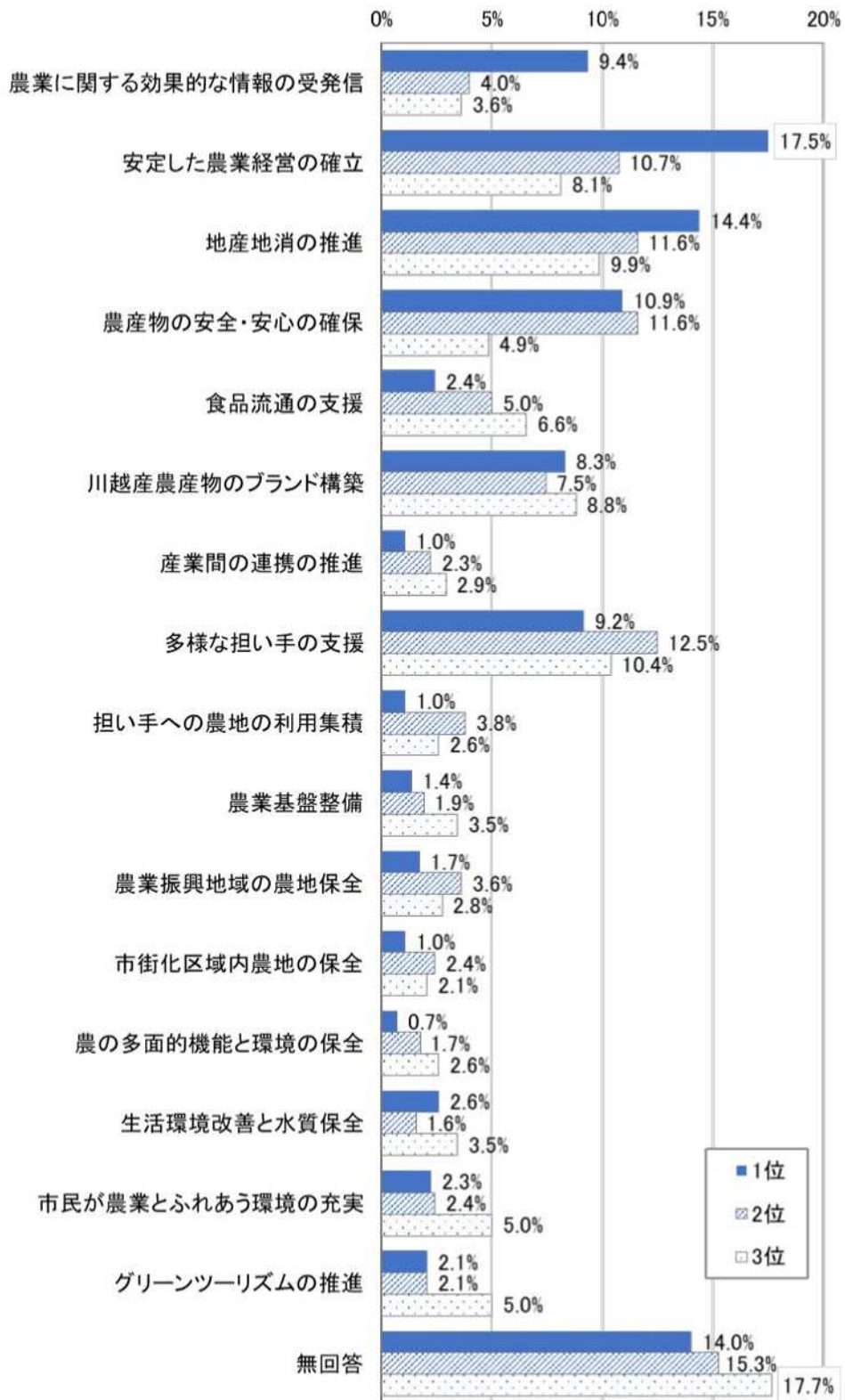
重要と感じる施策

重要と感じる施策について、「1位」にあげられた回答では「安定した農業経営の確立」が17.5%と最も多く、次いで「地産地消の推進」が14.4%、「農産物の安全・安心の確保」が10.9%となっています。

「2位」にあげられた回答では、「多様な担い手の支援」が12.5%と最も多く、次いで「地産地消の推進」、「農産物の安全・安心の確保」がともに11.6%となっています。

「3位」にあげられた回答では、「多様な担い手の支援」が10.4%と最も多く、次いで「地産地消の推進」が9.9%、「川越産農産物のブランド構築」が8.8%となっています。

| 重要と感じる農業振興施策 | 1位 | | 2位 | | 3位 | |
|------------------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|
| | 回答数 | 割合(%) | 回答数 | 割合(%) | 回答数 | 割合(%) |
| 農業に関する効果的な情報の受発信 | 54 | 9.4% | 23 | 4.0% | 21 | 3.6% |
| 安定した農業経営の確立 | 101 | 17.5% | 62 | 10.7% | 47 | 8.1% |
| 地産地消の推進 | 83 | 14.4% | 67 | 11.6% | 57 | 9.9% |
| 農産物の安全・安心の確保 | 63 | 10.9% | 67 | 11.6% | 28 | 4.9% |
| 食品流通の支援 | 14 | 2.4% | 29 | 5.0% | 38 | 6.6% |
| 川越産農産物のブランド構築 | 48 | 8.3% | 43 | 7.5% | 51 | 8.8% |
| 産業間の連携の推進 | 6 | 1.0% | 13 | 2.3% | 17 | 2.9% |
| 多様な担い手の支援 | 53 | 9.2% | 72 | 12.5% | 60 | 10.4% |
| 担い手への農地の利用集積 | 6 | 1.0% | 22 | 3.8% | 15 | 2.6% |
| 農業基盤整備 | 8 | 1.4% | 11 | 1.9% | 20 | 3.5% |
| 農業振興地域の農地保全 | 10 | 1.7% | 21 | 3.6% | 16 | 2.8% |
| 市街化区域内農地の保全 | 6 | 1.0% | 14 | 2.4% | 12 | 2.1% |
| 農の多面的機能と環境の保全 | 4 | 0.7% | 10 | 1.7% | 15 | 2.6% |
| 生活環境改善と水質保全 | 15 | 2.6% | 9 | 1.6% | 20 | 3.5% |
| 市民が農業とふれあう環境の充実 | 13 | 2.3% | 14 | 2.4% | 28 | 5.0% |
| グリーンツーリズムの推進 | 12 | 2.1% | 12 | 2.1% | 29 | 5.0% |
| 無回答 | 81 | 14.0% | 88 | 15.3% | 102 | 17.7% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% | 577 | 100.0% | 577 | 100.0% |
| | | | | | | |
| | | | | 1番 | 2番 | 3番 |



重要でないと感じる施策

重要でないと感じる施策について、「1位」にあげられた回答では、「グリーンツーリズムの推進」が9.2%と最も多く、次いで「市街化区域内農地の保全」が5.9%、「産業間の連携の推進」、「市民が農業とふれあう環境の充実」がともに5.0%となっています。

「2位」にあげられた回答では、「市民が農業とふれあう環境の充実」が8.1%と最も多く、次いで「グリーンツーリズムの推進」が5.4%、「産業間の連携の推進」が4.9%となっています。

「3位」にあげられた回答では、「グリーンツーリズムの推進」が7.8%と最も多く、次いで「市民が農業とふれあう環境の充実」が6.9%、「市街化区域内農地の保全」が4.7%となっています。

| 重要でないと感じる農業振興施策 | 1位 | | 2位 | | 3位 | |
|------------------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|
| | 回答数 | 割合(%) | 回答数 | 割合(%) | 回答数 | 割合(%) |
| 農業に関する効果的な情報の受発信 | 21 | 3.6% | 12 | 2.1% | 19 | 3.3% |
| 安定した農業経営の確立 | 12 | 2.1% | 5 | 0.9% | 5 | 0.9% |
| 地産地消の推進 | 16 | 2.8% | 14 | 2.4% | 6 | 1.0% |
| 農産物の安全・安心の確保 | 8 | 1.4% | 7 | 1.2% | 2 | 0.3% |
| 食品流通の支援 | 23 | 4.0% | 20 | 3.5% | 15 | 2.6% |
| 川越産農産物のブランド構築 | 26 | 4.5% | 26 | 4.5% | 20 | 3.5% |
| 産業間の連携の推進 | 29 | 5.0% | 28 | 4.9% | 18 | 3.1% |
| 多様な担い手の支援 | 7 | 1.2% | 13 | 2.3% | 11 | 1.9% |
| 担い手への農地の利用集積 | 16 | 2.8% | 20 | 3.5% | 18 | 3.1% |
| 農業基盤整備 | 14 | 2.4% | 8 | 1.4% | 8 | 1.4% |
| 農業振興地域の農地保全 | 17 | 2.9% | 17 | 2.9% | 14 | 2.4% |
| 市街化区域内農地の保全 | 34 | 5.9% | 21 | 3.6% | 27 | 4.7% |
| 農の多面的機能と環境の保全 | 12 | 2.1% | 18 | 3.1% | 18 | 3.1% |
| 生活環境改善と水質保全 | 7 | 1.2% | 12 | 2.1% | 12 | 2.1% |
| 市民が農業とふれあう環境の充実 | 29 | 5.0% | 47 | 8.1% | 40 | 6.9% |
| グリーンツーリズムの推進 | 53 | 9.2% | 31 | 5.4% | 45 | 7.8% |
| 無回答 | 253 | 43.8% | 278 | 48.2% | 299 | 51.8% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% | 577 | 100.0% | 577 | 100.0% |
| | | | | 1番 | 2番 | 3番 |

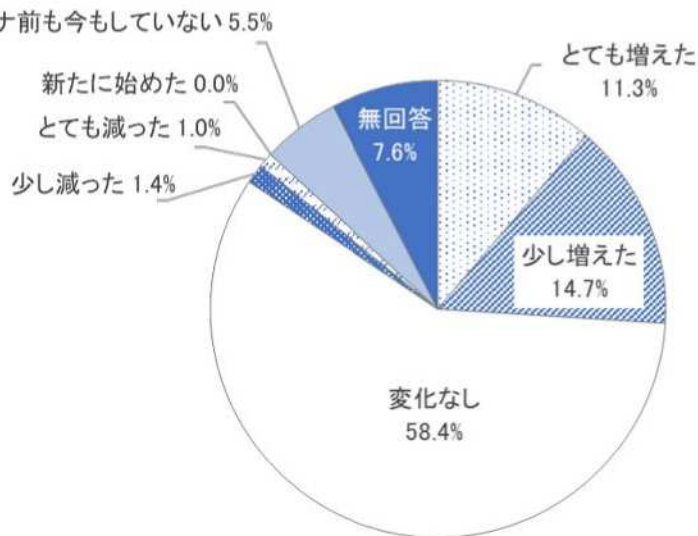


問32 新型コロナウイルスの感染拡大によって、日常のあなたの食生活にどのような化がありましたか。(①～⑦それぞれ該当するもの1つに○)

① 市内での農産物の購入

市内での農産物の購入では、「変化なし」が58.4%と最も多くなっています。「とても増えた」「少し増えた」を合わせた『増えた』(以下同様)は26.0%、「少し減った」「とても減った」を合わせた『減った』(以下同様)は2.4%となっています。また、「コロナ前も今もしていない」が5.5%となっています。

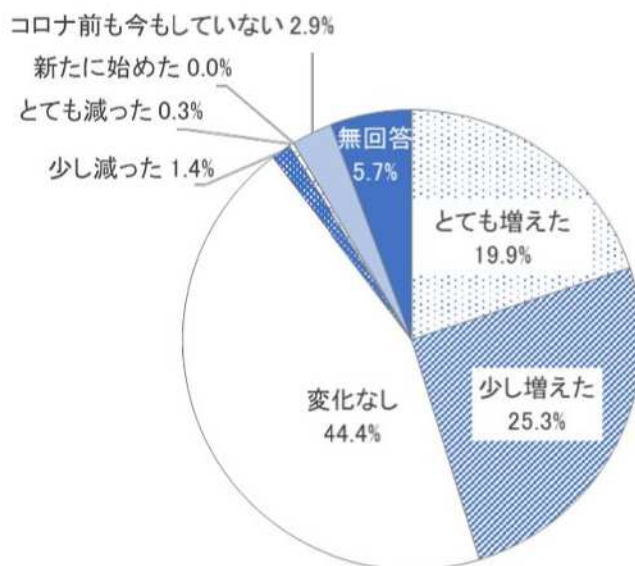
| 市内での農産物の購入 | 回答数 | 割合(%) |
|--------------|-----|--------|
| とても増えた | 65 | 11.3% |
| 少し増えた | 85 | 14.7% |
| 変化なし | 337 | 58.4% |
| 少し減った | 8 | 1.4% |
| とても減った | 6 | 1.0% |
| 新たに始めた | 0 | 0.0% |
| コロナ前も今もしていない | 32 | 5.5% |
| 無回答 | 44 | 7.6% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



② 家での食事づくり

家での食事づくりでは、「変化なし」が44.4%と最も多くなっています。『増えた』は45.2%、『減った』は1.7%となっています。また、「コロナ前も今もしていない」が2.9%となっています。

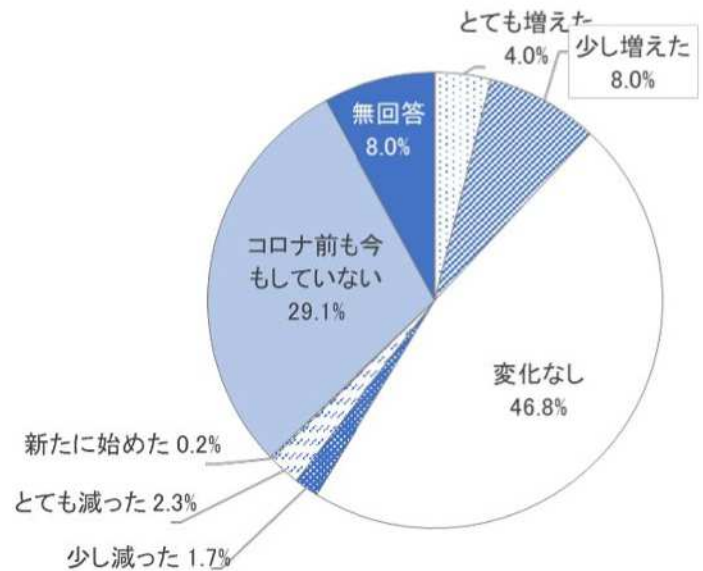
| 家での食事づくり | 回答数 | 割合(%) |
|--------------|-----|--------|
| とても増えた | 115 | 19.9% |
| 少し増えた | 146 | 25.3% |
| 変化なし | 256 | 44.4% |
| 少し減った | 8 | 1.4% |
| とても減った | 2 | 0.3% |
| 新たに始めた | 0 | 0.0% |
| コロナ前も今もしていない | 17 | 2.9% |
| 無回答 | 33 | 5.7% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



③ 農家庭先など生産者からの直接購入

農家庭先など生産者からの直接購入では、「変化なし」が46.8%と最も多くなっています。『増えた』は12.0%、『減った』は4.0%となっています。また、「コロナ前も今もしていない」が29.1%となっています。

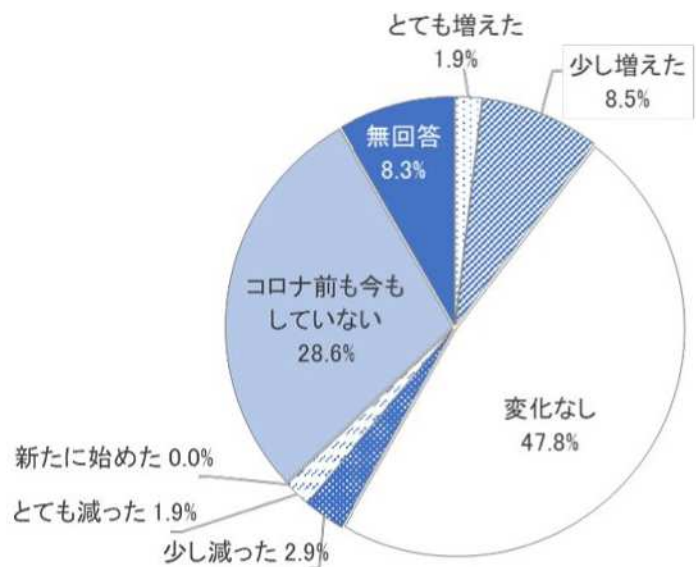
| 農家庭先など生産者からの直接購入 | 回答数 | 割合(%) |
|------------------|-----|--------|
| とても増えた | 23 | 4.0% |
| 少し増えた | 46 | 8.0% |
| 変化なし | 270 | 46.8% |
| 少し減った | 10 | 1.7% |
| とても減った | 13 | 2.3% |
| 新たに始めた | 1 | 0.2% |
| コロナ前も今もしていない | 168 | 29.1% |
| 無回答 | 46 | 8.0% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



④ 市内の農産物直売所での購入

市内の農産物直売所での購入では、「変化なし」が47.8%と最も多くなっています。『増えた』は10.4%、『減った』は4.9%となっています。また、「コロナ前も今もしていない」が28.6%となっています。

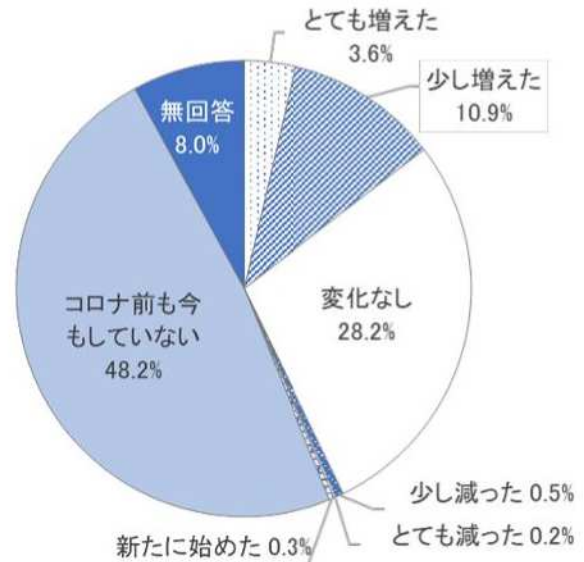
| 市内の農産物直売所での購入 | 回答数 | 割合(%) |
|---------------|-----|--------|
| とても増えた | 11 | 1.9% |
| 少し増えた | 49 | 8.5% |
| 変化なし | 276 | 47.8% |
| 少し減った | 17 | 2.9% |
| とても減った | 11 | 1.9% |
| 新たに始めた | 0 | 0.0% |
| コロナ前も今もしていない | 165 | 28.6% |
| 無回答 | 48 | 8.3% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



⑤ インターネット（オンライン）での購入

インターネット（オンライン）での購入では、「コロナ前も今もしていない」が48.2%と最も多くなっています。『増えた』は14.6%、『減った』は0.7%となっています。また、「変化なし」が28.2%、「新たに始めた」が0.3%となっています。

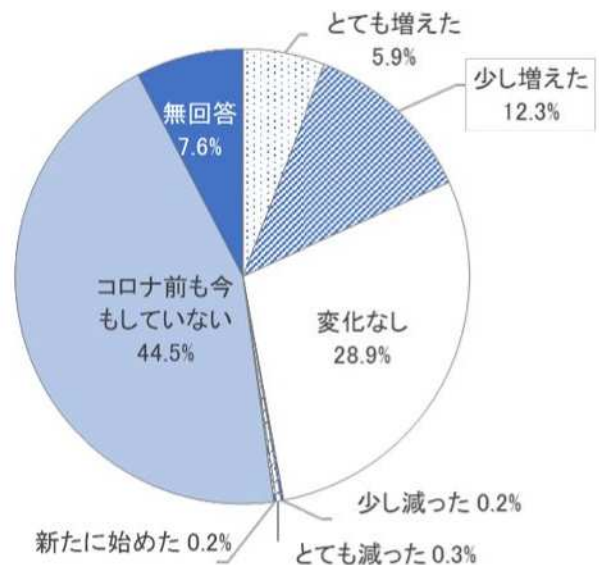
| インターネット（オンライン）での購入 | 回答数 | 割合(%) |
|--------------------|-----|--------|
| とても増えた | 21 | 3.6% |
| 少し増えた | 63 | 10.9% |
| 変化なし | 163 | 28.2% |
| 少し減った | 3 | 0.5% |
| とても減った | 1 | 0.2% |
| 新たに始めた | 2 | 0.3% |
| コロナ前も今もしていない | 278 | 48.2% |
| 無回答 | 46 | 8.0% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



⑥ 生協などの宅配サービスの利用

生協などの宅配サービスの利用では、「コロナ前も今もしていない」が44.5%と最も多くなっています。『増えた』は18.2%、『減った』は0.5%となっています。また、「変化なし」が28.9%となっています。

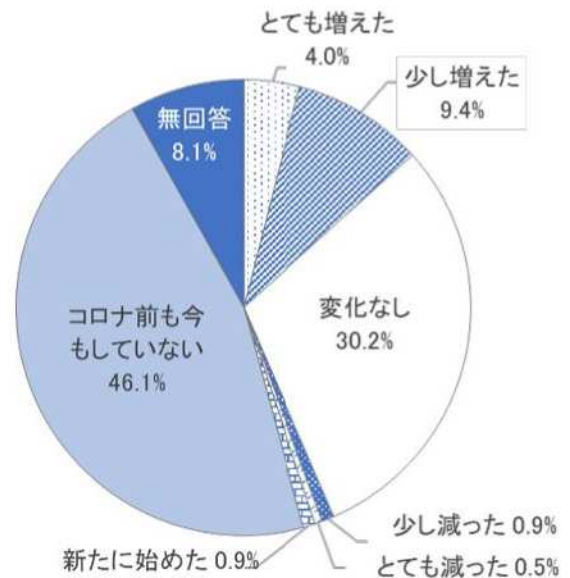
| 生協などの宅配サービスの利用 | 回答数 | 割合(%) |
|----------------|-----|--------|
| とても増えた | 34 | 5.9% |
| 少し増えた | 71 | 12.3% |
| 変化なし | 167 | 28.9% |
| 少し減った | 1 | 0.2% |
| とても減った | 2 | 0.3% |
| 新たに始めた | 1 | 0.2% |
| コロナ前も今もしていない | 257 | 44.5% |
| 無回答 | 44 | 7.6% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



⑦ 自身での農産物の栽培

自身での農産物の栽培では、「コロナ前も今もしていない」が46.1%と最も多くなっています。『増えた』は13.3%、『減った』は1.4%となっています。また、「変化なし」が30.2%、「新たに始めた」が0.9%となっています。

| 自身での農産物の栽培 | 回答数 | 割合(%) |
|--------------|-----|--------|
| とても増えた | 23 | 4.0% |
| 少し増えた | 54 | 9.4% |
| 変化なし | 174 | 30.2% |
| 少し減った | 5 | 0.9% |
| とても減った | 3 | 0.5% |
| 新たに始めた | 5 | 0.9% |
| コロナ前も今もしていない | 266 | 46.1% |
| 無回答 | 47 | 8.1% |
| 回答者数 | 577 | 100.0% |



問33 今から10年後を目安として、川越市の農業の望ましい姿について、ご自由にご記入ください。

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----|----|--|
| 10 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業人口増加 |
| 20 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・田畑の保全、景観維持 ・「埼玉県川越市の〇〇」という〇〇といたら、川越といった農業があれば観光客の増も見込めると思う。また、国内だけでなく、海外へも売り出せる。 ・農業後継者の育成を強化して川越市の農業が衰退しないような施策をしてほしい。10年後に増加の発展を期待します。 ・近所の農家は大変。年に何回も雑草の管理でのため農業をまき大変困る。農地としては作物もつくらず人間に害になる。「子どもが知らず、雑草がないからボールで遊んでいる」「こんな農地は許されず」農業委員会はどうか。 ・農産物のブランド化も大事だが、川越市民の自分としては、地域の人をマーケットとした販売形態にしてほしい。 ・川越の名前の入ったブランド野菜が誕生したら知名度が上がると思う。 ・有機野菜の充実と価格。(買いやすい値段) ・新鮮で美味しく、安く、安定して供給できる農業形態。 ・今ある形から退化することなく進歩すること。変化を恐れず進歩すること。 ・東京近郊で安定的な農産物の供給を行う田園都市。 ・途中長すぎて答える気を失いました。申し訳ないです。 ・最近では、農業を辞めてしまった人が多くなったのか、荒廃した農地や水田が目立つ。10年後はさらに増えると予想すると、かつて緑だった部分が住宅やその他埋め立てられるのは心が痛む。現在、荒廃している土地は、誰が持ち主でどんな状況なのか、という情報はどのように手に入るのかも分からない。もし、ネット等で情報共有されれば余力・余裕のある人がその土地を利用して農業を行う可能性もある。情報が何も無いと、やがて無関心になりさらに荒廃が進むのではないかと考えた。難しい問題であると思いますが、土地情報の“可視化”が必要だと思いました。 ・後継者がいなくて、農家を続けられない家が増えていくと思います。後継者問題を考えていかないと、衰退してってしまうのではと考えてしまいます。 ・農業は担い手不足なのではと心配しています。若い人が農業をやりたいと思っても、老人からの嫌がらせや資金の問題などで諦める事が多く、そもそも農業が儲からないという話も聞きます。儲からないのであればどんなに楽しくとも農業をやりたいと思う人増えないので、10年後には公的な支援無しで赤字の出せる農業が市内で流行っていれば良いなと思います。 ・農業に興味を持つ市民への農地分配を行い、農地の活性化を行う。また、市民の作成した農作物の収益化のビジネスモデルを確立する。 ・農地面積が今と変わらない、又は拡大していて、農業者が増えている。副業で家族や仲間と行える環境が欲しいです。農薬や添加物の使用ゼロを目指したい。日本の健康寿命は海外に比べて低く、農薬や化学添加物もその原因だと考えるから。食料の廃棄と食糧不足問題を解決するために、スマート農業を導入して、農業者の負担を減らしたい。 ・将来を見据えた従事者の若返り。農業技術や流通の効率化。 ・さつまいも、もっとおいしくしたい。 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----|----|---|
| 20 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食に地元の農産物を積極的利用し、生徒にも周知する。 ・ 料金が安くなっていただきたい。 ・ これ以上、田畑を減らすことなく後継者が増えると良い。 ・ 今ある農地や今いる農家の方が安定した暮らしを送れるような農業であつたらいいなと思います。 ・ 庭先売店が増えていつでも子どもたちに新鮮なお野菜を食べてもらえるようにしてほしい。また、食べ物の大切さをわかってもらうため、いろいろなイベントあると嬉しい。 ・ 農地が減ることなく、農業に取り組む人たちも減らずに、今と変わらず農業ができていく状況が望ましい。 ・ 若い農業の担い手(川越市4hクラブなど)が生き生きと活躍できる環境があること。 ・ 農家の数の維持、若者の積極的な農業への関心の促進。 ・ 若い担い手が増えて、安定的な収入を得られる仕組みづくり。新しいひとが参入しやすい環境。 ・ 担い手が減少していることを鑑みて、人間の手以外で出来ることは機械に任せてみても宜しいかと思います。 ・ 地産地消を促進させることで地域社会の活性化に繋げるだけでなく、無駄なエネルギーを減らすといった持続可能な社会への取り組みが進められると良いと思う。 |
| 30 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統にとらわれず“いも”とか美味しいものを作り、観光農園などの訪問者をがっかりさせないで欲しい。“いも”ブランドの低下が現在あると思うので。 ・ それぞれの家庭で生活の一部として農業が行えると良いなと思います。農地のレンタルや農業のノウハウが学べる機会の確保、実際に収穫を行った際の販売ルートの確保、売り上げに応じた報酬等、すべてを行う。正直、大変だと思いますが市民それぞれの得意な分野を活かせる場(農業に関する仕事)の構築ができると思います。 ・ 若い人も農業ができる。農業を始めやすい。 ・ 昔から伝統を受け継いでいる。 ・ 空き農地が有効活用されている。 ・ 遊休農地解消 ・ 近代都市の中にも農地としての豊かな自然が残り、広がる景色が見たい。さつまいも以外にも、川越の名物となる野菜が存在してほしい。若い世代がいきいきと農業を行い、しっかりと稼いでいる姿を望む。 ・ 安定した食料の供給 ・ 広い面積を有した市ですので、駅付近などの利便性が高い地域は消費の場として活用し、郊外の地域では環境の良い農地として活用する、といった棲み分けが可能だと思います。南古谷駅から川越駅まで見える線路沿いの景色は、その好例だと思います。駅前には活気があり、郊外では広い面積で伸び伸びと農作物が育っている風景が見てとれます。市街地での農業を郊外に移すといった役割の棲み分けは利便性の向上にもなるかと思えますし、農業側で捉えても、コミュニティの集約という意味で利点があると思います。少子化が進む中で、こういった棲み分けされた街作りというのは今後の街づくりで重要なことではないかと感じます。 ・ 今ある農家さんを支えて、古き良き街であり続けてほしいです。 ・ 現状維持しつつ、担い手が少ないと思われる現代、担い手が増えることを期待したいと思う。 ・ 農業と水の保全についてよく知らないですが、川越に引っ越してきて水が非常にまずいことに驚いているので、改善されるのならもっと農業を増やしてほしい。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----|----|--|
| 30 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 田園風景が美しい川越が今よりもっとにぎわうように若い人たちが少しでも農業に触れ、みんなが生き生きしている姿。 ・ 若い方でも農業に触れる機会を増やして副業につながるようにしたほうがいいと思います。自分も農業を高校時に学べたのでまた機会があればやりたいです。 ・ 昨年生まれた子どもが川越で農業が盛んなことで学びを得られ、食や農の仕事へ興味をもってくれると良いと思います。私自身も野菜が好きなので仕事につながっていくと良いなとうっすら思っています。 ・ 気軽に1日バイトがもっとできるように。若い人が農業をやりやすいオープンな農協。そもそもイモ以外の有名なものを知らないのもう少し何かあるのかみんなが知れるように（ベルクは茨城産が安いので）。 ・ 古き良き農業の伝統と景観を残しつつ、未来にもつなげていけるようたくさんの方が気軽に楽しめる日常の一部にある存在になってほしい。 ・ 地元野菜が安く買えるようになってほしい。ほとんど手入れしない時期（米の収穫から植える間の冬）雑草はすごいし、もっときちんと管理してほしい。わらが飛んでくる。野焼きゼロ！！他県、他市では罰金ですよ。もっと取り締まりを！迷惑で仕方ありません。風の強い日危険。 ・ 観光地として益々栄えてほしい。市場に住んでいるものとして、住宅だけでなくコンビニ、スーパーなど生活のための施設を増やしてほしいです。 ・ 今もこれからも私たちの生活にとって農業・農地というのは、大切に切り離せないものであると思っています。農家の人たちが一生懸命作った野菜が値崩れし、大量廃棄されていることなど、実態として知られていないこと、変えていくべきことがたくさんあり、「昔からずっとこうだから」と変化を受け入れない風潮があるのも農業だと思います。農家の方は余剰分を原価ほどで提供し、消費者は地域のを安く購入できるような農家と市民の距離が近くなる未来が理想的です。また、多少高くても無農薬、オーガニックなど取り組む方も支援したいです。 ・ 農家を辞めていく方が多い中で、今の若者も気軽に農業をはじめられるようになってほしいです。私のエリアは田畑が多いので、やり始めやすいですが、なかなか子育てとの両立が難しいので。 ・ 安心して川越産の農産物を購入して、こどもにも食べさせられるものであってほしい。また、直売所はスーパー等で購入するよりも、新鮮で安価なものが購入でき、生産者の利益が直接繋がる場であってほしい。 ・ 緑が豊かであることは大切なので、農地をできるだけ維持してほしい。 ・ 農家の方が安心して、農業を続けられる。 ・ 幼稚園や学校と連携し、生徒が農業に関わる機会が増えればいいなと思います。 |
| 40 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ より身近に感じられるものなり、サツマイモ以外にも特産といえるものがある。 ・ 高齢化社会で農業が衰退して成り立たなくなることは避けてほしい。 ・ 農家の人たちだけが農業をするのではなく、地域の小学生や中学生と一緒に農作物を育てる形ができること。 ・ 農業観光地として日本のTOPブランドとなり首都圏を中心に収益源の確保。 ・ 遊休農地がない状態 ・ 調整区域における受託建設の規制強化。農地の集約化。大規模化。経営効率の向上。 ・ やる気のある農業志望者の受け皿となれる自治体。農獣害対策など、他の模範となれる魅力的な取り組みの実感。 ・ 川越いもや御蔵米などブランド化が進んでいるものもあります。この路線を進めて、農業も持続可能な産業にすることが大事だと。その上で、農地と開発地のバランスをとって、緑があふれる都市になっていければ良いかなとは思っています。 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----|----|---|
| 40 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になっております。子供がおり、収穫体験が当選した際は、楽しく参加させていただいております。農家の皆様は、天候等にも左右され大変だとは思いますが、頑張っていたきたいと思います。川越は、農地と街のバランスが非常に良いと思います。これからも、そのバランスを保っていただきたいと思います。 ・農業を担う若い人たちが増え、農業で生計を立てられるようになってくると良いですね。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業の魅力が増え、後継者問題が解消するとういなと思います。 ・農業後継者を市街地からも受け入れる。(川越移住者に特典をつける) ・今の状態を維持してほしい。 ・使用していない田畑や荒れている田畑が次々と家や建物が建っているので、農業をしつづけられるサポートが必要だと思います。安くて新鮮なものはもちろんですが、少し高くても地場の良さはあると思います。 ・さつまいもだけではなく COEDO のブランド野菜などあればよいと思う。 ・農業も会社のように人を雇いやすくなればやってみたいという人も増え、農業をもっと身近に感じることができないのではないかな。 ・人々が川越の農産物が選ぶようになり(地元でも外でも)農業をやりたい人が増える。市民が畑や地元の野菜などに自然にふれる機会がたくさんあるなど。国分寺のぶんじ野菜みたいだと。 ・若い人に補助金を与えるなどして後継者を作ってください。 ・子ども、親が農業について興味を持つ。 ・私は約2年前に川越市民になりました。川越といえば「さつまいも」が有名ですが、それだけじゃない農作物をアピールしてほしいです。 ・正直アンケートをいただくまで深く農業について考えたことはありませんでしたが、私たちの生活に大きくかわることなので若い人たちにもっと知ってもらい、地産地消に力を入れて盛り上げられたら良いなと思います。 ・農業用地が継続して使われている。川越ブランドの農作物の確立。 ・各地域でロシアのダーチャのようなものが定着すると良いと思います。自給自足までいかなくとも家庭菜園をしながら小さな共同体が作られるのが理想的です。 ・ブランド商品確立。地産地消。食育。販路拡大。ランド商品確立。地産地消。食育。販路拡大。 ・ウクライナ情勢含め、改めて実感するが、そもそも食品全体を輸入にばかり頼るのは反対。いざというときの備えを真剣に考えなくてはいけない時代になってきたと思う。それと、若い頃は農業にも興味があったが、どうなればいいのか分からなかったし、資金が大変かかると聞いて諦めました。農家になりたい人に容易にはじめれたり、情報が受け取りやすくなると良いと思う。そもそも市の広報も字ばかりで読む気にならない。大切なことも読まなければ伝わらない。伝える努力はもっとあって良いと思う。めくるのが楽しくなるような広報であってほしい。 ・若い人達に選ばれる魅力的な仕事になっている事。DXの推進。 ・農業に詳しくないですが、川越でもスマート農業の導入が進み、既に農業をやっている人も含め、必要などころに支援の行き届いた農業が展開されていてほしいなと感じます。田畑がマンションに変わっていく光景を見ることが増えたので、景観がこれ以上悪くならないことを願っています。農家以外の人でも何かできる事があれば発信してほしい。 ・担い手の確保が心配です。可能な限り農地はそのまま農地で生かされてほしいと考えています。農家の職業がもっと評価される(カッコイイとか、採算が合うとか、価値があるとか)世の中になってほしいです。 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----|----|---|
| 40 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・農家の方が、農業で生計を立てられるようになってほしい。また、農業を志す人が参入しやすいよう、環境が整っていてほしい。 ・市民に貸す農地を増やして欲しい。様々な地区に作って欲しい。 ・会社経営としての基盤作り。農家への老後の補償、手当、希望者には定年制度。高齢者は実務では無く指導的立場での労働の可能性の拡大。及びそれによる生活基盤の確保。若年者の就農における年収の確保、補償。 ・国外での戦争のため、食糧がどんどん値があがるのが目に見えています。国内での農地を減らすのは危険ですし、川越で生活している人たちが安易に安くて質の悪い食糧を購入して体の調子が悪くなるのはいやなので、農地はなるべく残しておきたいと思います。ただ、相続税の問題で手放さざるをえないときもあるのでやみくもには残せと言えません。 ・食糧危機を鑑みて地産地消に特化したほうがいいと思う。水質は大事なので、熊本みたいに水質が良いことを川越の売りにしてもいいと思う。 ・今後若手が減っていくのに、アパートやマンションの空き部屋が目立ち、売れていない宅地があるのにも関わらずどんどん切り開かれ一戸建てに変わっていくのを残念に思っています。川越駅から見ると北側に施設が寄っているのでなかなか参加できませんが、川越の農業が少しずつ発展していくのを願っています。 ・特にない。 |
| | 不明 | <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、深谷ねぎ。ネギは普段の料理にかかせない物。冷蔵庫にいつもある食材。さつまいもは、とても美味しいが、たまにしか買いません。普段の料理にも使いません。皆さんがよく口にする食材を川越ブランドとして育てたら面白いのでは。例えば、子供も喜ぶ苦くないピーマンや、大きさを印象に残るデカイ大根など。いつのも買い物でも、パッと見た目違うものが売っていると、思わず手に取ってしまいます。カインズホームにある野菜売り場は比較的利用しやすいです。 ・川越ブランド農産物として商品に価値を加え、農業従事者が十分生きていけるだけの収入を得られなくてはいけないと思う。 |
| 50 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・福原地区を中心とする野菜産地は経営基盤がそれなりに安定していると思受けられます。その一方で米産地をどうするか。大きな転換期にあるように受け止めています。耕作放棄地が増える一方で明確なビジョンを提示していただきたい。面積が広くかつ、すぐに解決できない課題だったからこそ、現実をきちんと認識して考えていただきたい。個々の農家の判断に委ねられている時期は過ぎ去ろうとしているのではありませんか。観光ばかりがクローズアップされますが、北西部から時計回りに南東部までの地域が荒らされてしまうことを現実として十分にあり得ることとして受け止めていただきたい。 ・若い方々が田畑のお仕事をされている姿が見たいです。 ・各市町村のPRも参考にし、特に農業マスコットキャラクターの兄弟姉妹等を増やし（バリエーション）マスコット、キャラクターのぬいぐるみやキーホルダーの増産、川越各駅やスーパーマーケット内に専門の販売のガチャガチャの設置で収入の多くを農業振興に役立てる他に紅あずまやとうもろこしのかき氷等新商品をつくってみては？ ・田畑をなくさないでほしい。 ・川越の農産物をブランド化して全国にアピール。農業の発展。 ・農産物の安定供給。安心安全、おいしい。 ・近年農地から宅地への変化が著しい。人口が増えるのは良いことだが、有事の時に市民の食料や仮設住宅の土地の借り入れなどの際に農地は必要と思われるので、農地確保と農業従事者への支援は重要と考えます。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----|----|--|
| 50 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・畑をつぶさないこと。農家を保護すること。農家には、農家として最大限利益が出る政策をするべき（減税等）。 ・現状がわからないので答えようがありません。 ・満足の行く給料を他人に払える産業に。 ・農地は増えた方がよい。 ・今ある農地は残して欲しい。 ・農家の方々が経済的に自立し、やりがいを持って生産に専念できる農業。 ・地産地消、高くても地元農産物を買うことが地元の農業を支えるという考えができる街になってもらいたい。 ・生産者の担い手支援をおこない、持続可能な農業生産を継続し、市民が食を享受するとともに、食文化も感じられるような、さまざまな受容をできるかたちになればと思います。 ・自分の住んでいる地域にも、あぐれっしゅなどの直売所があったらもっと利用頻度が上がる。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・川越産農産物の推進。 ・定年後に興味と実益をかねて農業参加できようになってほしい。 ・言うだけなら簡単ということを前提として、今ウクライナ情勢で小麦の問題が取り上げられています。確か埼玉県は小麦の生産が良かったと聞いていますので色々な商品に対応できる小麦を増やしていったらいいのではと思います。 ・農業経験がないものとして体験できる機会があればしたいと思う。また忙しいときの援農できる仕組みがあれば参加したい。 ・スーパーで「川越産」を多く手に取ることができるよう担い手の方がんばってもらいたい。 ・観光ばかりでなく川越の農業にも力を入れてもらってください。 ・若い人が積極的に働く場になってほしい。 ・「川越産」というブランド農産物が有名になることができればよいと思う。 ・川越＝いものイメージのみなので他の農産物をアピールしてほしい。実際、住んでいても、いも以外はわからない。 ・地産地消。川越ブランドをつくる。 ・人材を増やし、気軽にできるように工夫。アルバイト（中学生から75歳まで）とか機会をどんどん使って楽しんでできる農業。きちんと収入がある農業であること。 ・今、農地を大切にしている農家さんが土地を守っていけるように支援してあげて、宅地にするのをなるべく少なくする。一番は後継者不足を解消できれば良いと思う。 ・地元で採れたものを売ったり料理として食べられたりする施設やイベントがあるといい。 ・家庭菜園、ポットでも育てる楽しさを少しでも年寄りから子供まで感じられるようになったらよいです。それが発展に繋がるのでは。 ・田んぼがかなりありますが、何ブランドでお米を売っているのでしょうか。聞いたことがありません。近くの川みみたいなものも、どぶのように汚いです。その川とかの水ではないのでしょうか。もし川越のお米と分かって購入するかは分かりません。もっときれいな街にしてほしい。安全便利な生活が出来るようになると良い。 ・消費者と生産者が今までよりもっと近い関係を保ちつつ、生産者が作ることによって健康になり、また消費者も食べることによって健康である関係性を保てるような食のあり方を提供するような、お互いがWinになれる関係が理想的に望ましいあり方だと思います。 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----|----|---|
| 50 | 不明 | <ul style="list-style-type: none"> ・大東地区において近年、農地開発が進み住宅が増えている。人が増えることは悪いことではないが水田や畑が減り、水や小川が少なくなり、風通りが悪くなり夏が暑くなっている。 |
| 60 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 宣伝、広報の充実 ・ 放置状態の農地を何とかしてほしい。春先の砂埃が大変迷惑している。 ・ 農業地域の減少を抑える。農地をできるだけ残す。担い手の確保、存続方法、市街地地域に転換を抑制する。農地が減少、放棄地が増加していることに萎える。幼い頃から見ている景観が変わってしまったのが残念でもある。 ・ 官・民あげて持続可能な農業の環境整備、多様な担い手の発掘、AI 導入によるスマート農業を推進 ・ 安定した農業収入で若手後継者だけでなく、農業に興味をもつ農業経験のない人が拡大していくこと。農地が住宅地の無秩序な拡大によってなくなってしまうようにする。 ・ 川越市として農業に推進し、後継者育成につとめ、市民だけでなく、市外からも農業をやりたいという人たちを募集し、農業従事者を増やして行くべきだと思う。 ・ 最低限でも現状維持 ・ 川越農産物の販売イベントなどわかりやすい場所で毎月開催すると良いと思います。また家庭菜園などの販売できるシステムがあると普及すると思います。 ・ 付加価値のある農産物の研究開発、ブランド化、加工施設を農地に併設、企業-農地従事者-市民の共同運営 ・ 自身も含めて周辺地域の農業を続ける農家は減っていて耕作しない管理農地が増えている。さらに年度が進めばその管理すらもできなくなり農業放棄地がどんどん増え続けて荒地ばかりになってしまいそう。だからと言って農地にしておかなければ年金生活者にとっては固定資産税が支払えなくなり破産してしまう。これからは農地を集約して大規模農業を進める公社を構想する必要がある。そのために必要な農地法の改定など、10年後の目標を掲げてそれに伴う人、金、法律の整備が不可欠である。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・ オイシックスの川越バージョンのようなものを作り、地元の野菜を市内の買い物に行きづらい老人家庭に届けるような仕組みはいかがでしょうか。「鎌倉野菜」「国分寺野菜」とか聞くとおいしそう〜と思ってほしい。その地でその食材を使った料を食するのが楽しみになります。「川越野菜」とは私のイメージの中にはありません。あーこれが川越の野菜だよねというふうにはならなかったです。川越の名物として有名なサツマイモも実は川越産ではなく、他市のものを使っている方が多いと聞きました。川越野菜のブランド化を市ががんばり、地元の飲食店でもそれを前面にだした自然食のお店とか。そうしたら、市内の散歩も楽しくなるし、ちょっとランチしようかなとも思うし、「おいしい川越農産物提供店」をもっとアピールしてはいかがでしょう。(No.1のルーチェには行ったことがあります)川越にんじんの「にんじんジュース」などあれば健康志向ブームなどで需要あるかも。お金と時間をかけて行うこのアンケート、ムダにならないように祈っています。 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----------|----|---|
| 60 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・私は、新潟出身で昔からお米を作って農協さんに両親が出荷していました。昔は全部手作業のため、村一帯での協力が必要で子供たちも必ず手伝うことが当たり前でした。そんなこともあり私は、畑等も大変さがわかっていて農家には全く興味がありません。実家の新潟の方も跡継ぎもおらず、ほとんど農協さんに任せているようです。年々この近くも多分これから田んぼする人もいなくなる一方だと思います。これからは若い人たちがどうしたら興味を持ってくれるかが非常に難しい現実だと思います。私は地方出身なので川越はよくわかりませんが、何をしたら今の若い人たちが農業に興味を持ってくれるか、農業の楽しさを感じてもらえたらと思います。 ・あまり現状を認識していないので意見するのは難しい。広報とは別に川越市の農業について発信してほしい。 ・水田が比較的多く見られます。一般市民（消費者）が川越産のお米をJAだけでなく手に入れることが可能なシステム作りができれば地元のお米を購入しやすいと思います。 ・南古谷の田園の景色を保ってほしいと強く思います。さつまいもも保ってほしい。あんまり負担のない程度に農地を保ってほしい。できれば農地を貸してほしい。やりたい。安く貸してほしい。 ・後継者が絶えることなく地産地消の姿が続くことを願います。 ・今のままでよい。 ・食料の自給率を上げるため限りなく自給自足に近づくようにしてほしい。ただし、減農薬法や有機栽培を主体とした方法で行ってほしい。 ・地産地消できるといいですね。 ・相続等で農地が減って住宅が建っていくのが多くみられるのでそういった事をなんとかしてほしい。 ・農地を低価格で与える。 ・安全で安心した食材の供給体制の推進。 ・草の管理のためだけにトラクターを動かす無駄は望ましくないと思う。 ・川越市で野菜を買うということがここ20年あまりない。住所からして日高が多く、アンケートに答えるのか？ ・農業従事者の若返り ・農地を潰して大型ショッピングセンターを作りたい。 |
| 70 以上 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・残念ながらアイデアなし。 ・学校給食には地産地消がされているのでしょうか。続けてほしいです。水害のない街づくりに水田、農業経営が続きますように。 ・30万人を超える川越をバックにした農業を市民が身近に感じられその農産物を喜んで購入、食べる環境を推進してください。直売所の増設。そして、その採算等行政の仕事かと思えます。 ・現状維持を期待します。 ・川越市の基幹産業となってほしい。 ・農地の集約が進み、大規模農家が増えていると思う。安定的営農ができ、消費者は助かると思う。サラリーを貰って農業をと考える人も増えると思う。 ・食料の確保をできるだけ行う。ほかの地域に頼ることを少しでも減らす。 ・グローバル化の進んだ世界を考えて（次の世代に残るために）。集約化で規模拡大。IT、AIを使った省力化、無人化。収入も労働力も将来性もある。希望の持てる農業で後継者が増えるようにしてほしい。（汚い、きつい、低収入を脱却）。先端技術を使った開発で魅力ある商品を生み出し（海外販売展開も）できるようにする。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----------|----|---|
| 70 以上 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続できる農業経営 ・ 農業についてそこまで関心を持つことがなかったので遠慮いたします。 ・ 第一次産業の中でも農業は重要な位置を占めている。特に若い人が多くの方が農業に興味をもって携わってほしい。自給率を少しでも上げていけたら良い。 ・ 住宅街の隙間に緑があるとほっとします。なるべく現状を維持していければと思います。 ・ 現在は、年々休耕田が目立って増え続けており、市政としても何とかしてほしい(長期計画でよい)。 ・ 大袋新田地区の(下) 基盤整備。(農道・水利) ・ 現在、家庭菜園で野菜を育てているが、水便が悪い。伊佐沼からの用水も汚く、適当な水路確保を望む。 ・ 他県に比べて農業振興はととも遅れているように見えます。川越市の産物がさつまいもだけでは悲しい。目に見える大々的な広報 PR 活動をお願いします。 ・ 大規模農地の整備 AI の活用。共同経営の推進。 ・ 出来るだけ無農薬の物を食したいので無農薬直売所があると助かる。 ・ のどかな田園都市を整形してほしい。住宅地、市街地にも田畑を残してほしい。 ・ 農産物の全てにおいて国内自給率を上げていくことが望ましい。特に米価の低価格は何とかしなければならないと思う。 ・ 廃業農家の農地を集約して利用できる形体。(企業形体農業、新参入農家、副業として) ・ 後継者が安心して農業経営に携われる環境整備 ・ 首都圏の中で農地が存在し、食料が確保出来る位置として一番近いのが、川越である。特に環境問題を考えた時、最後に行きつくのは食糧危機である。川越が受け皿として果すべき最前線にあることは明白である。では何が求められているのか、それは、ビッグデータの活用である。暗中模索ではなく、これらに裏打ちされた農業を推進することが 10 年後の需要にも応えられる姿であると考えます。ちなみに文化をカルチャーと表現するが語源は農業を意味するラテン語からである。経済も農業が出发点である。 ・ 自給率の向上を推進して欲しい。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家族が高齢になる。休農地の有効活用。 ・ 農地が空地(何も作られていない)になっているがとても気になりますが、農家が高齢化していて後継者がいないためだろうなと思っていますが、寂しい気がします。 ・ 地元の野菜は美味しいので残すべき。川越のはずれであるため、昔から市街(鶴ヶ島、さかど、越生の JA 農産物)の物を利用してしまう。交通の便、安価、気軽さ等。 ・ 川越農産物が手軽に購入出来たらよいと思います。 ・ 市内での生産が増えてほしい。市内、地元のは鼻が高い。地元の物が少ないと寂しい。 ・ 私は自転車、自動車に乗れません。バス専門ですので便利なバス利用です。故にほとんど丸広を利用しています。少々高めではありますが、おいしいものを選んでいきます。川越地産のものがもう少しよくなれば良いと思っています。 ・ 安全な食品が続きますように。 ・ 農業生産者への応援 ・ 農地がいつの間に宅地になってしまい、残念です。環境保全のため、市は考えてほしい。親が死亡するとすぐ宅地になる傾向が強いので。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----------|----|--|
| 70 以上 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・都心に割と近いので、芋掘り等は子どもに体験。新聞等で宣伝して川越の地名をあげてほしい。 ・川越といえはさつまいも、紅赤いもをもっと全国に広げてほしい。 ・農家の皆様の作った野菜類を規格外であっても味がよければどんどんスーパーなどに販売してほしいです。 ・農地面積を維持していく努力が必要だと思う。市内の食料需給率が低下していくことは避けたい。 ・作る人々が安定して収入を得られるようなサポートがあれば若者も農業をしてみようと思うのではないのでしょうか。 ・年齢的に10年先のことは考えることができません。 ・10年後生存していない？今は安全で新鮮なものを手に入れたい。 ・具体的には言えませんがさらなる進展を希望します。 ・農地を持っていなくても農業に興味のある若者が参入しやすい法人型のものがあれば良いと思う。 ・農薬を減らして安全な農業にしてもらいたい。これからの子どもたちのためにお願いします。 ・町中で川越市の野菜直売所を作ってもらったら、車がない人でも買いやすくでどんどん増えていくと思う。川越の農産物を消費したいのなら求めやすさを考えてもらえばいつでも新鮮な野菜と安全な野菜が食べられる。 ・地産地消 |
| | 不明 | <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全性、川越食産物を使った料理レシピ（栄養分析表解析付き）でおいしく楽しい農業を広めていく。 ・私達夫婦は2人ですのでとりあえず新鮮で品質が良いことで美味しいことを願っております。そして価格が安いことをお願いします。 ・最近、周辺の農地が宅地に代わってしまうことが多いです。なるべく農地を残してほしいです。農家だけでなく地域の住民にも緑は大切な宝です。 |

問34 川越市の農業振興にあたり、考えやアイデアがありましたら、ご自由にご記入ください。

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----|----|--|
| 10 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業のパート、アルバイトを増やしてあげる。 |
| 20 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学生（地元）などの若い力を農業に注げばどうか。AIなどを活用し、誰でも簡単に始められるようになれば興味をもつ人は増えるのでは。 ・SNS利用。企業や大学とのコラボ（食品中の〇〇という成分に〇〇の効果があります）（科学的データをとる）有名人を使ったアピール。（ロバート馬場さんとか）こういったアンケートもなぜいまだに紙なんですか。QRコードとか同封してネットで回答にすればより多くの声が聞こえると思います。何よりネットにすればアンケートの結果を集計する作業もより手短になるのでは？アンケート集計業務よりももっと他のことに時間を使うべき。農業の発展であり、アンケートをとることではないはず。「SDGS」と各所でいわれている中で、紙がもったいないとも言えます。ネットで集計が最もベストだと思います。こんなことを書くと「若い人にはできるけど高齢者にはできない」という言葉があるが、確かに先人の経験は大切だが、先人は10～20年後にはいないのだから10～20年後に生きて生活している人達の声の方がよりニーズが高いのは自明である。まだ世の中に生まれていない子どもたちのために今を生きる我々が努力すべきである。私も仕事して所得税、住民税を納めます。 ・農業未経験者でも農業に携われるよう農家の方々と連携してマンツーマン指導ができるシステムを構築して農業希望者がスムーズに農業に取り組めるようにしたらどうでしょうか。もっとたくさん川越市の農業についての情報を発信する。（広報、SNS、その他の情報誌など）。 ・農地税は安いはず。上記のような管理があってはならず。税は高くする。私たちの宅地税、そこに住んでいる住民は健康に害している。農協さんに組合として話し合う必要があると思う。 ・健康ブームに乗っかり、野菜を使った料理を食べ歩きで販売する。又、栄養をユーザーにも明確にすることで自覚を持たせる。 ・農業協同組合の中で学習する機会を市民に提供する。 ・SMSで情報発信が望ましい。 ・SNSや広告等を利用した、積極的なPR活動など。 ・市民が知らないようなものを名物として売のではなく、市民が知っていて、良いと思える物を名物として売る。TVなどでたまにある形のものですが、町中で市議であることを隠して直接アンケートを行う。より「リアル」な考えが聞けるはずで ・農業と緑地化を軸とした自然豊かな街づくりで、子育て世代の市への誘致を促進する。そこで、働き手の世代が農業への興味を持つ施策を取り正の循環を生む。 ・最新テクノロジーを利用したビニールハウスでの農業に興味がある。農業は、傍から見ると汚い、体力が必要というイメージがあるが、機械を利用した農業は全く逆である。ただし、通常よりもお金がかかることから、市として給付金等を持ち掛けることで、若い世代にも農業に興味を持ってもらえる可能性があると感じている。少なくとも自分はそうです。 ・問33に記載した通り、市民と農地の距離感を縮める。具体的には余っている農地を市が一元管理し、ネット予約にて市民が簡単に農地を利用できる環境を作る。（期間、空き農地を選択し、予約・利用できるようにする） |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----|----|--|
| 20 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・副業で家族や仲間と農業が行える環境を作ることで、農業に関心を持つ人が増えると思います。地区ごとに、農業をやってみたい人向けに場所を提供する。(車の契約駐車場のよう)自分も農業に興味があります。将来の日本を考えると、農業の活性化が1番の課題と考えても良いと思います。自分も貢献したい。 ・ビオトープなどを作って生き物とふれあい、子供たちに農業を、身近にしてみてもうだろうか。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・もっと物(野菜など)を安くしたら、川越みーんな買うし、うれしい。 ・川越産の農産物は確かに美味しいですが、若干知名度に欠ける印象です。川越には蔵造りの街並みや駄菓子屋横丁など市外の方も来てくださる観光地がありますので、そちらの店舗にふるさと納税に関するポスターを貼らせていただいたり、今年の川越祭りの宣伝の際と一緒に告知するのもアリかなと思いました。(既に行っていましたら申し訳ありません)いつもありがとうございます。お体にお気をつけて頑張ってください。 ・農家さんがすすめる美味しい野菜の食べ方、保存方法レシピ等、売り場にあたりすると買ってみようという気持ちに。 ・広報に直売所の実際の様子や農作物の値段などを記載した特集ページを組む等、周知の徹底を計るとよいのでは。子育て家庭に向けたおいも掘り体験やさまざまな農作物収穫体験を企画するのも良いと思う。 ・若い世代にも農業を知ってもらう必要があるため、SNSなどで発信する。また逆に、ご年配の方々にもSNSなどを知ってもらい、若者との架け橋になるような活動をもっと増やすべきだと考える。例えば、小学校で農業体験をする学校を増やす。その様子をSNSで発信する、など。 ・農産物のブランド化や多様な人が農業に受け入れられやすい環境づくりを進めると良いと思う。 ・農業従事者の高齢化への懸念があるので、若い世代への情報共有と支援をお願いします。 |
| 30 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・JA解体 ・川越市以外での直売所の交流や連携。(寄居、羽生市方面に行くと取り扱い商品に違いがあって面白い。川越でも取り扱いできないだろうか) ・農地を所有していても高齢化や担い手不足等により耕作放棄されないように、代わりに行える人を簡単に見つけられる仕組みが市の仕組みとして整えられていると良い。 ・特に無し ・私自身、地元川越の農産物直売所よりも、深谷市花園にある花園農産物直売所を利用する機会が多いです。農地の面積の差があると思うので仕方ない部分があるかと思いますが、品揃えと同じ野菜であってもたくさんの生産者の野菜があり花園農産物直売所を利用してしまいます。川越も花園農産物直売所のような規模の直売所ができたと思います。 ・とにかく水がまずいので、農業だけでなく、水が美味しくなる方法があったら是非実践してほしい。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児も参加できる短時間、軽作業の農業経験が気軽にできれば親としても嬉しいです。市民センターが開催して身近な施設だと尚参加しやすいと思います。 ・夫が飲食店をやっているの川越の農産物をもっと活用できたらよいと思います。あぐれっしゅ、とても好きでよく行きます。徒歩圏内であればもっと行きます。SNSの活用、観光地での朝市、西武線沿線での駅ナカ販売PRなど。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----|----|--|
| 30 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な野菜は皆さん食べたいと思うので、移動販売があれば利用したいと思います。実家（三芳町）は家の近くに産直野菜が売られていてどれも人気で午前中には売り切れのことが多いです。そちらはよく利用するのですが、自宅近くのはわからないので移動販売があると良いと思いました。 ・駅にコイン販売機（U-PLACE とか）、ご飯作るのが面倒くさいと思うことが多いので単品とミールキットのようなのがあったら良い。共働きで帰りが10時なので。あと、茨城のほれほれブランドのようにキャンペーンを多く打ち出したり、川越産のシール。 ・収穫体験。先日の枝豆。はっきり言って不作でした。500円であれば高い。昨年のほうが良かった。不作ならそのむね説明し、安くすべき。たまねぎ。時間を区切るのには良かったけど、いざ収穫の時、狭すぎました。まわりからも「え？こんな狭い区間でこの人?!」と声がでていました。1区間あけてとかにしてください。 ・川越市民でも三富地区のさつまいもを知らない人がいます。まずは、市民に知らせるべきでは。（川越名産品を） ・TV「アド街く天国」の番組でやっていたメロン栽培コンテストのような育てるのが難しいものをみんなが庭先等で育て、情報交換をしてコミュニケーション促進に一役買うシステムがすごくすてきだと思った。川越もお祭りがあって地域の人たちとの結びつきがある地域なので、川越ブランドの野菜を各家庭で育て、コンテスト（大きさ、見た目、味などを競う）を行うことで住民・市民の意識もブランドに向き、また育てるコツを情報交換することでコミュニケーションもうまれ街として一体感、結束力がさらに強まるのではないかと思います。街全体で川越ブランドを推していくことにつながると思う。 ・高齢化が進んでいると思うので、他で働きながら参加できる（副業のような形で）農業があれば取り組みやすいと考えます。 ・川越は、「芋」のイメージが全国的に有名だと思いますが、日持ちする魅力的な芋のお菓子が少ないと思います。芋や茶など蔵造りの街並みに合う農産物があるのに、活かされていなくて残念です。観光客へのPRも足りないように感じます。誰でも知るような有名パティシエ、料理人とのコラボなど、美味しいものがたくさんある街ということを知っていき、観光客だけでなく、地元住民も集まり活性化に繋がると思います。農家にとってもモチベーションの上がるような市からの支援・イベントなど美味しいものを作ろうと思えるような取り組みをお金をかけて行ってほしいと思います。問33にも記入しましたが、廃棄予定の野菜などを無料で提供する場を作ることは難しいでしょうか。曲がったり、虫食いのある野菜含め、また加工所など持ち込める場所を作り、野菜の定食、ジャムの販売を行う。収穫体験もお子様のいる家庭では、有料でも参加してみたいと考えている方が多いと思います。獲ったものは持ち帰れるなどすれば数千円でも募集があると思います。（収穫以外の時期、雑草取り等参加したい方は無料参加OKなど） ・子どもへの食育活動を増やしてほしい。 ・気軽に参加できそうな農業体験があれば参加してみたいと思いました。 ・特になし |
| 40 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・川越産農産物を使用した料理を提供するキッチンカーを提供する。学校給食を一般の方も食べられるようにし、川越産の食材をPRする。 ・小中学生の農業参加。今も体験としては実践していると思うが課外活動の一環で9年間やり続けていいと思う。 ・遊休農地のあっせん。市のメール配信サービスでアンケートを広く配布。 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----|----|--|
| 40 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地や相続により非農家が取得した土地を行政等が引き受け、農地集約化をすすめるなどランドバンク的な機能。 ・市民農園からの販売、流通 ・近郊地は専業の大規模農地で、産業として生き残れる農業を、市街化地域は市民による市民農園などで、コミュニティや生涯趣味としての農業をというような、明確な色分けをしても良いのかなと思います。市街化地区の小規模農地は、商売として成り立たせるのは難しい気がします。ビジネスとして魅力がなければ、跡継ぎもできず持続可能性が低い。なので、そこは地域の間としての活用を。 ・大変かと思いますが、収穫体験の人数を増やし、その場で調理まで出来る体験があると面白いと思います。コロナが落ちてたら、収穫祭が復活することを願っています！ ・市内に農業高校があると良いですね。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス栽培や水耕栽培の方がやってみたい人がいるかもしれません。 ・川越産の農産物を生産者が様々なイベント等で販売できるように生産者を支援する。 ・農業は天候に大きく左右されるので、保証や対策等も大変になるので、市としてサポートがあると少しは違うのでは。 ・子どもと一緒に参加できる農業イベントなど増やしてほしい。知らないイベントも多いので若い人へは SNS などで発信してほしい。 ・まずは安全でおいしい川越の農産物がなにかを市民が知って試せる（レストランでも食材として）機会が増えたら認知度が上がるのではないかと思います。興味があっても身の回りにないのでまだよくわかりません。 ・〇〇体験！という大型ポスターを自治会で回覧で回したり（その都度）わかりやすいと目にとまりやすい。1年分まとめてだと忘れてしまう。一般農業会員を募り、種まきから収穫までの体験を知っていたら子どもと参加したかもしれない。 ・農業をやってみたいなと思うような催し物があったら、もっとアピールしたほうが良いと思います。産業まつりみたいなのか。 ・農業をする会社の設立。（世襲による農家用が多いので）農家の生まれでなくても農業に携われる機会を増やす。 ・少しでも農業に興味のある人たちに交流できる場を提供することをしていただきたいです。 ・川越市オリジナルの家庭菜園キットの商品化。ミニトマト、イモ、シソなどから。 ・まず川越の農業のことを知らない。知る機会がない。自分みたいな人は多いと思う。良し悪しや振興云々の前にもっと知ってもらう機会を増やさなくては始まらないと思う。個人的にはバーベキューとか好きなので、街中に程近い畑に囲まれた場所とかでバーベキューできる施設とかあったら行ってみたい。レジャー増えると嬉しい。 ・農産物のブランド化は価格も上がり、地産地消からはかけ離れると考えています。各農家のご自宅前で販売するだけでなく、いくつかの農家さんが集まって地元の農産物を販売する機会や場所、自販機などを市の主導のもと、増えたら安心して購入しやすいと思います。この欄に書くことではないですが、あぐれっしゅも早朝から観光客の車ばかりで、野菜を買いたくても車がとめられない。あの混み方は無料だからではないのでしょうか。駐輪場は有料にするなど、対策を考えていただきたいです。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----|----|--|
| 40 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーでも地元野菜が買えるのは楽しいです。ほぼ必ず見えています。続けてほしいです。農業系（観光）マップみたいなものが出来るほどに盛り上がり、川越ブランドが人気が出たりしてほしいですね。農業番組とか何か楽しくて話題になるもの出来たらいいですね。（昆虫すごいぜ！が話題になったけれど、農業（やさい）すごいぜ！とか）あと、珍しい農作物（珍しい西洋野菜とか、古来の在来品種とか）を作っている農家さんがいるなら、そういう情報も発信してほしいです。 ・若い世代の就農へのハードルが下がるようなコミュニティ、補償、ロールモデルの発信など販売ルートが広がるようなイベントマルシェ。地域の方々とのおふれあいを含め、伝統野菜、伝統料理、地域の行事を取り入れた料理の継承。味噌作り等、子育て世代が参加し易いようなイベントの開催。子供が参加できる料理教室。（地産地消を含む食育目的として） ・市民農園を増やしてほしい。 ・周りのお年寄り足が悪くて農業はとて出来ないと思っていますし、40代の私も事故で足が少し悪くなっているのでそれが理解出来ます。以前テレビでどこかの地域でやっていた「しゃがまなくていい農業」はとてもいいなと思います。水耕栽培だったり、土を盛って地平を高くしていました。それと、一回仕事に出たら長時間拘束されるのではなく、短時間だけスポット参加できるものだと無理ができない体の人や育児中の人でも働きやすいと思います。農業以外の職種もですが、少人数を採用して一人当たりの労働時間を伸ばそうとするのではなく、多人数を少しづつ時間を使うマッチングシステムがあれば病欠や産休、介護を抱える人を労働者として巻き込めるんじゃないかなと思います。 ・特になし |
| | 不明 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節の野菜詰め合わせ（3,000円位）をあぐれっしゅで限定個数で販売する。 |
| 50 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・小さくてもよいので地元中心の直売所をもっと作ってほしい。伊佐沼直売所のようなもの。あぐれっしゅは品ぞろえを重視してしまったためか、他県産のものばかり並んでいる。全く魅力なし。単なる大型スーパー。 ・庭先で野菜を販売している農家の方に防犯カメラ付きの料金箱を設置してほしい。 ・川越の巨大なテーマパークを作り、飲食、体験、物販。大人も子供も1日楽しめる。テレビでもいっぱい取り上げてもらえるようなものすごいものを作る。川越がんばれ。 ・川越産農産物のブランド化と消費者イメージの浸透。 ・Wワークで農作物生産のアルバイト・パートが気軽にできるように賃金UPや多様な働き方が構築されると様々な人がもっと農業にいろいろな形で携われると思う。 ・昨今、農作の歴史が軽視されている。重要性をもっと教育に取り入れる。日本は稲作、農業あつての国なので衰退させないよう、条例等で保護すべき。それには、農作の重要性を理解してもらおう政策が必要。直売所など勉強になりました。より良い農業政策になるよう頑張ってください。 ・問31の「16の施策」がそもそも多い。5~6個にまとめるが好いかと。どれも大事といえば大事である。同じような内容のものを小分けにするは縦割りの発想であると思います。土地の人が土地のものを安心して利用できることがまずもって一大事かと思っています。 ・日々の農作業に追われ経営的アイデアに手が回らない農家も多いと思う。その面での精神的、金銭的支援。 ・トマト栽培など工業的な農業 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----|----|--|
| 50 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 問 33 が実現できれば、農業、農家に関する多くの問題が自ずと解決できるでしょう。ブランド構築もその一つでしょう。流通価格で差別化できれば、市場価格の変動を受けにくいので生産者収益が安定するでしょう。同時に販売チャネルの多様化も重要だと思います。市内スーパーでも川越市産とわかれば多少価格差があっても手に取る人も増えるのでは？そのためには「川越産の（例えば）芋でなければならない」というような非代替性の農産物を発見・育成することから始め、ブランド管理、マーケティング、海外も含めた販売チャネルの開拓などなど、生産者個人では難しいことを行政としてサポートできれば良いかと。また、農業振興として公金を投入する以上、市民の理解は不可欠です。単なる販売会ではなく、そのためにこそ農業イベントが重要です。市民が誇れる名産品の存在は市民の理解、協力に大きく寄与すると思います。長々と偉そうな事を書いてしまいましたが、要は川越市の農業をこの先どうするのかという明確な理念を掲げ、そのためのビジョン（30 年先、10 年先、5 年先）を導き出せれば、今現在何をすべきかを理解するのは難しい事ではないように思います。 ・ 農家の庭先販売と農産物直売所の中間的な販売所があればいいと思う。 ・ これまで以上に、さまざまな発信をしつつ、食文化に関するイベントなどを企画していただければと思います。 ・ 特に無し（2 件） |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーの野菜コーナーの地元の農家さんの商品がもっとあるとうれしいです。「朝採れ」と見るとついつい手が伸びてしまいます。今回のようなアンケートがきてびっくりしました。が、真剣に取り組んでいるのを感じ頼もしく思いました。 ・ 生活クラブで時々援農のボランティアを募っているが、そのような制度があれば参加したいと思っている。横浜在住の時は公園愛護会に所属し草刈り、枝打ち、落ち葉かきなどしていた経験あり。現在は参加できていない。 ・ 農業で成功している企業や個人経営者をお手本にすべきだと思う。 ・ さといもの葉を傘に見立てトトロ風の写真を撮るとか。 ・ 市内の各スペースがある場所に朝市など実施し、普段より「川越産」に触れ合える場を多くし、良さをアピール、ファンにさせる。 ・ いも ・ 小中の授業に畑仕事の時間を入れる。売って収入になること。簡単にする。10 歳以上から時給でアルバイトができるようにすること。もしくは農塾として素質のある子を育成する。 ・ 周辺に農業に関わっている方がいないのでよくわからない。 ・ 定年後、再就職したくてもなかなかできない元気な高齢者が 1 日数時間でもいいから働けるような、農作業があればいいなとおもいます。人手が足りないところにとっても、高齢者も体を使って働けてどちらにとってもいいのでは。 ・ 車で出かけなければ行けない所ではなく、駅近くや人通りの多い広場があるところで、川越市でどんなものを作っているか、どうやったら美味しく食べられるか紹介したり、試食してその場で買える、次はどこで買えるか、などの情報があれば嬉しい。 ・ 農業の方がいるので野菜や果物が買えますが、興味がないのでアイデアも浮かびません。 |

| 歳代 | 性別 | 記 述 |
|----|----|---|
| 50 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規参入者として、リタイヤして体力がありあまっているが、今からでは畑を持つたり田んぼを持つことができない元サラリーマンやご高齢の方がパートタイムで参入が容易になる農業ビジネスを市が支援して起こすというのはどうでしょうか。（もしかしたら今やっているかもしれませんが）リタイヤした方のコミュニティ形成や健康増進のための活用になると思われまます。また観光地である利点をいかしてレストラン経営、製品開発など色々考えられそうです。特に最近駅近くのテナントが撤退している現状があるようなので、そういう場所を盛り上げることに農業が活かされたらいいのではないかと。 ・特にありません。 |
| | 不明 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会により高齢者の家庭菜園が増化している。家庭菜向け指導のコミュニティ等をもっと行ったら良いのではないかと。 |
| 60 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝、広報の充実 ・店先での川越産のコーナーを増して川越産を消費者にアピールしていったらどうでしょうか。 ・後継者不足が深刻であるため、集团的農業経営等、国、県自治体が応援して経営が成り立つ農業スタイルを確保する必要がある。農業という職業に魅力が感じられなければ衰退してしまう。農業経営黒字→食の提供→好循環世界のスタイルを参考にするなど。 ・地場産の野菜、花等購入時にポイントがもらえる。農業体験などでもポイントが貯まる等の工夫。 ・農産物生産できちんと食べていける収入が保証されていくようにしていくための振興策が必要です。 ・市外、市内と農業従事者を募集し、また、農地の提供の充実を計るべきである。 ・もっと情報発信をしてもらいたい。 ・付加価値のある農産物の研究開発、ブランド化、加工施設を農地に併設、企業-農地従事者-市民の共同運営 ・農地を集約して大規模農業を進める公社の設置 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮が一番。農家さんとの交流をして楽しく興味を持てるように工夫する。 ・市街地に住んでいるので普段農産物とふれあうことが少ないので町内会などを通じて広報活動があってもいいと思う。 ・私が友人に送っていつも喜ばれるのは、さつまいもです。いつも決まった農園からです。正確には川越市ではなく三芳町ですが、落ち葉堆肥を使い、実った結果でしょう。本当に美味しい野菜は全国どこにもありますが、皆、農業への真摯な取り組みから生まれると思います。土造りからアピールして川越ブランドの野菜が出てくると嬉しいです。 ・川越市の農産物を使った飲食店や駅弁（お弁当）などの店舗がたくさんできるといいと思う。畑の中にお店があるといいと思う。 ・世代、職業を超えて交流があるといいと思います。 ・高齢者が増加し、農業する人が少なくなり、畑は荒れ放題になると思います。シルバー人材派遣をフルに活用すべきだと思います。 ・定年退職後の人や興味のある人に税金が払えるくらいの料手で管理に困っている人の土地を利用できると良いと思う。条件は草にしない。年1~2回チェックする。 ・農業大学がありながら、仕事に就く人がいないのですか？市内のバスをもっと便利にして笠幡にもバスが欲しい。 ・農業の法人化、休日ある仕事 ・東上線でも川越駅より奥はすでに過疎化が始まっている。川越を農業中心にするより都心へのベッドタウンまたは観光地として発展させて欲しい。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----------|----|--|
| 70 以上 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声をアンケートで調査されたのは、初めてです。このような取り組みがあつて近隣の農家さんの苦労さを知る機会にもなります。農業は自給率を高め、食の安全を維持してほしいです。安全な野菜（有機）表示はありがたい。 ・助成金の充実した制度 ・産業を営むことの魅力を小中学生に教えること。農作物の成育や手法、開発等を行う研究機関の設立と研究成果を实践できる施策農場の運営。農業経営ができる場の構築・整備。 ・インバウンドで体験型も農も日本文化もかみ合わせた型 ・多くの休耕田をとりまとめて中～大規模な機械化された農業ができるように行政を民間が協力してやれたらどうか。 ・農地委員会の活動は新設できないものでしょうか。 ・保育園児等の交流を図り、幼少期からの食生活の重要性を図ること ・無農薬で野菜が作れるか、作れないのか。スーパーで販売されている野菜はどの程度農薬を使っているのか。消費者は、全然わかっていないので周知徹底させる。信頼される農薬が農業の繁栄となる。 ・川越には身近に田畑があり、米作り、収穫体験など小学校教育として取り入れる。農業の「昔、今、未来」を見据えた博物館（農業ふれあいセンター）の設置。（廃業農家の農機具の収集保管） ・紅赤（さつまいも）といえば川越と答えられるような特産品をあと3つ程揃える。例えば、マンゴーは宮城県の特産品でも何でもなかったが、東国原知事が推奨したことで今はマンゴーといえば宮崎という名前が挙がるようになった。それも高級品の扱いとなっている。ここに至る生産者の苦労は当然のことだが、他にないような品質に仕上げることでブランド化される。旗振る人の確保も大事である。若いアイデアマンの意見を組み入れることが必要であり、展望も開ける。即ち、農業関係者以外の新しい目を採用する勇気が必要である。 ・特に農業振興と関係がありませんが、地域の田んぼのあぜ道脇、側溝の水を田植え期間だけでなく、年中流してほしい。“散策時”の自然環境等々とても自然にひたしめします。あぜの水はとても自然を感じる。 |
| | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・せっかくの農産物、購入したいと思ってもなかなか行けません。車での移動販売をしていただくと楽しみが増えます。高齢者でも目で見て自分の考えで買い物をしたいです。 ・小6年生を中心に米の稲を畑に植えさせ、年に数回畑に行き、草取りなどさせる。米の生育状態を観察させる。卒業間近に収穫させて卒業式に各人記念品として渡す。私としては米の成長とともに個々の成長もしてほしいと願います。 ・川越市は農地があまっているように感じます。（使われていない農地）野菜もほとんど品種改良された物を生産し、近くに直接できた農産物を購入できる、近くにレストラン（食べられる所）もできれば人々も集まると思います。市民も農業品も興味を持ち、自分たちも農産物の栽培に参加したいと考えるかもしれません。 ・私のまわりにも社会生活に困難を覚えている人、障害者年金をもらって無気力に生きている人がいます。そのような方々に農業の喜びを伝え、経済的にも心の癒しのためにも助けとなる。農業の担い手となっていただきたいです。イチゴ、トマト、ぶどう、さつまいもなど差別化を図れる栽培方法などの指導をお願いしたいです。指導者の力は大きいと思います。農業人を発掘し、育てることに力を注いでいただきたいです。 ・川越は公園がないので農地を公園にする事も考えてほしいです。 |

| 歳代 | 性別 | 記述 |
|----------|----|--|
| 70 以上 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・家の近くに販売所があればぜひ行きたい。市の広報等で春等場所を載せてほしい。トマトは何十年も買ってきた。今年度閉店されて悲しかった。農業も高齢化してきているのかと思う。 ・住宅街や駅前に野菜の自動販売機を設置していただけたらと思います。 ・観光の面では、知名度が高いので TV、SNS を通して農作物に注目が集まるように JA と協力して企画してはどうか。 ・観光客向けに鉄道会社とタイアップして駅に近い場所に産直野菜の販売所を設置する。重いものを持たずに観光を終えて電車で帰る際の気軽に買い物ができる。 ・とにかく直売所をいろいろな所に設置してもらえば、地産地消になると思います。有機野菜はどんどん作っても売れます。 ・川越市の農産物の売店を増やしてほしい。スーパーのコーナーを確保してもいいと思う。教育センターの利用は（グリーンパークの近く） ・近所で梨狩りができればいいと思う。 |